

4. ボデー

4.1	ボデー シエル	4-2
	外板塗装	4-2
	構成部品	4-5
4.2	ボデー外装	4-6
	バンパ & スポイラ	4-7
	ラジエータ グリル	4-9
	ウインドシールド ガラス	4-10
	モールディング & ガーニツシユ	4-10
	ドア	4-12
4.3	ボデー内装	4-15
	インストルメント パネル	
	& コンソール ボツクス	4-15
	シート & トリム	4-16
	室内配色	4-30

4.1 ボデー シエル

■特長

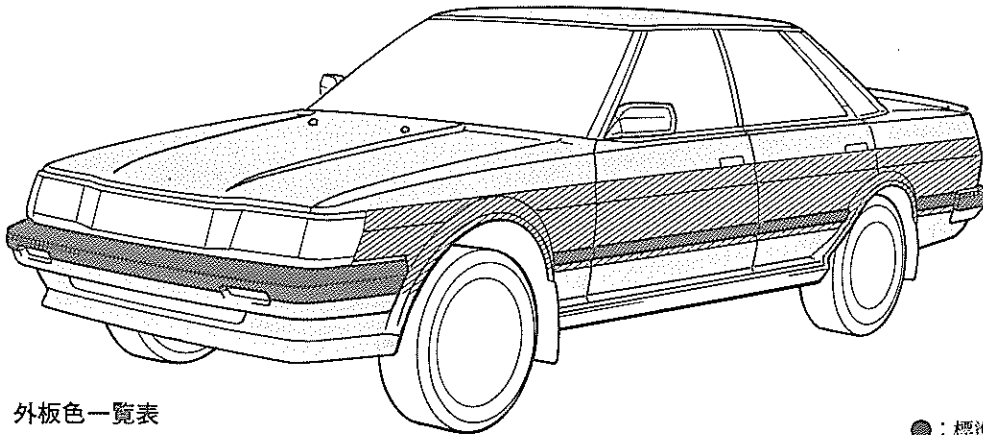
品質感の向上

- 1. 新外板色の採用..... 4- 2
- 2. 外装部品のカラー化設定拡大..... 4- 4

□外板塗装

1. 外板塗装

- 外板色はハイグレードパーソナルカーに要求される高級、高品質をより向上させるべく、新技術を駆使した高品位なカラーリングにするとともに内装色とのベストマッチングをはかり、マークⅡの車格にふさわしいハイクオリティーカラーの8色(モノトーン7色、ツートン1色)を設定しました。
- 好評のホワイト系は従来と同様ホワイトの持つ本来の美しさを表わすスーパーホワイトⅡ(カラーNo.040)とホワイト(カラーNo.041)を継続採用しました。
- マークⅡをより高級、高品質に仕上げる外板色として、見る角度により明るさが変化するスーパーシルバーⅡメタリック、キャンデイのように深みと透明感のあるダークレッドマイカおよびブルーマイカ、従来のパールマイカ塗装の特長である真珠の輝きを生かしたツートンのパールクリスタルトーンリングを設定しました。



外板色一覧表

	25C
	042
	4G8
	(ブラウンメタリック) U4C5

●：標準装備 ○：メーカーオプション

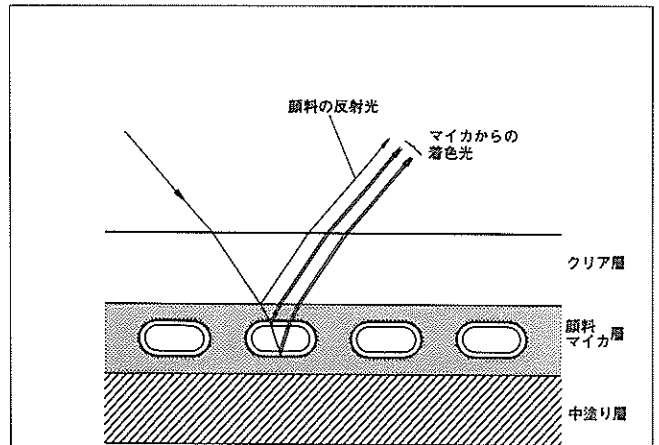
カラーネーム	カラーコード	セダン						ハードトップ			バン		ワゴン
		STD	GL	GR	LS	LG	グランデ	LG	グランデ	GT	DX	GL	LG
ホワイト	041	●	●		●						●	●	
スーパーホワイトⅡ	040		●*	●	●*	●	●	●	●	●			●
スーパーシルバーⅡメタリック	166		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダークレッドマイカ	3H3			●		●	●	●	●	●			●
ベージュメタリック	4G8		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ブルーマイカ	8E3		●	●	●	●	●	●	●	●			●
ダークブルーメタリック	8C1										●	●	
パールクリスタルトーンリング (ホワイトパールマイカ/ ベージュメタリック)	25C (042/4G8)									○	○		

*：カラードバンパ設定車のみ

XB0034

(1) ダーク レッド マイカ (3H3)

従来のマイカ塗装は酸化チタンをコーティングしたマイカベースをカラー ベースの上に塗装していましたが、ダーク レッド マイカはチタン コーティングの上に酸化鉄をコーティングしたマイカを顔料と混合して塗装します。マイカに酸化鉄をコーティングすることによりマイカからの反射光が酸化鉄の色であるレッドに着色され、顔料のレッドと相まって透明感のある美しい深みのある特有の輝きを発します。



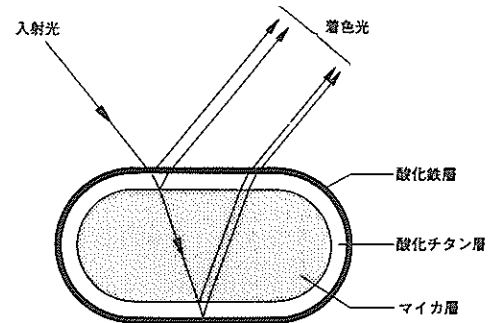
(2) ブルー マイカ (8E3)

- ① ブルー マイカは、ダーク レッド マイカと同様マイカと顔料を混合して塗装します。しかしダーク レッド マイカがマイカに酸化鉄をコーティングするのに対し、従来からの酸化チタン コーティング量を厚くして、マイカ自体で反射光に着色しています。またマイカへの入射光も顔料のブルーにより着色されあらゆる方向から透明感のある美しい深みのあるブルーを実現しました。

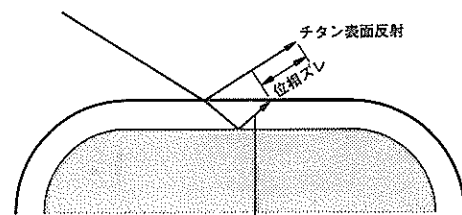
- ② マイカには以下のような特性があります。

光の反射は密度差のある面で発生します。マイカの光沢感はマイカに酸化チタンをコーティングすることによりチタンの表面の反射とチタンとマイカの面で反射が発生します。そのため酸化チタンのコーティング量を変化させることによりチタン表面と底では反射に時間のズレが発生します。この反射光の時間的ズレが影響してコーティング量が少ない場合はズレがほとんどないため全反射となりシルバー系統のいわゆる真珠光沢となります。コーティング量を変化させて行くと時間のズレが比較的少ない場合は波長の短い青系統が消え赤系統の色となり、ズレが大きくなると赤系統が消え青系統の反射光となります。ブルー マイカはこのマイカの特性を利用しています。

マイカ塗装がメタリック塗装と根本的に異なるのはメタリック粒子がアルミでその反射光が白いため、カラー ベースの色によりベースの色を白濁します。マイカは基本的には透明なためベースの色を弱める方向には作用しません。



ダーク レッド マイカ



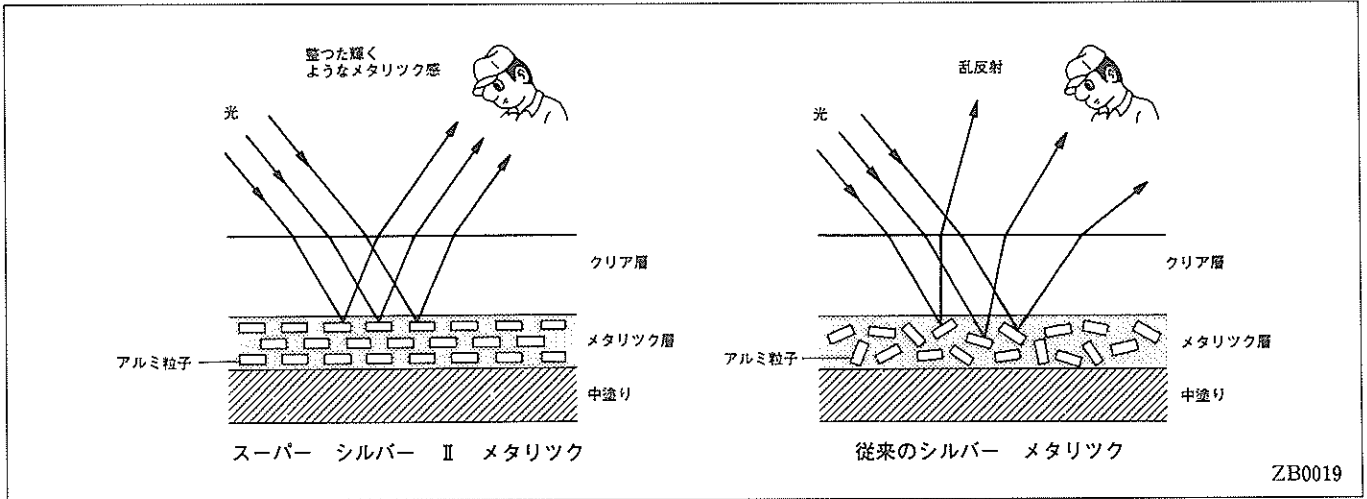
チタン、マイカ間の密度差による反射

ブルー マイカ

VB0030, VB0028, VB0029

(3) スーパー シルバー II メタリック (166)

従来のメタリック塗装では、メタリック粒子にアルミを使用していましたがアルミ粒子の粒径が不揃いでかつ表面が荒れていたため光が乱反射し、全体的に暗く濁っていました。これに対しスーパー シルバー II メタリック塗装では、メタリック粒子であるアルミ粒子の大きさを整え、表面を滑らかにし、また均一に粒子が並ぶよう塗装することによりフリップ・フロップ（光の正反射方向ではより白く輝き、それ以外の方向では明るさが消え黒味をおびて見える特徴）の強い、より金属感（メタル感）の高いシルバー塗装としました。

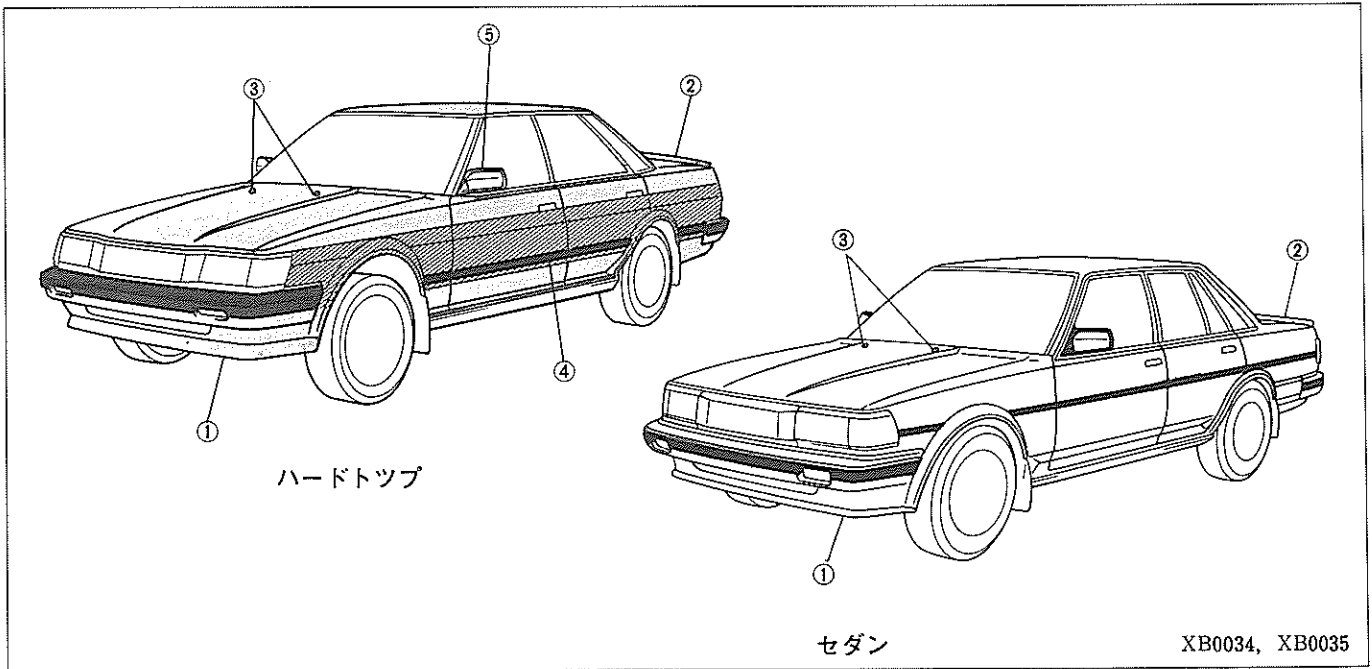


ZB0019

2. 外装部品のカラー化

● グランドおよびGT ツイン ターボ車で、ツートン カラー またはスーパー ホワイト II の外板色車両の場合のみ、以下に示す外装部品のカラー化を行いました。

外板色 部位	スーパー ホワイト II	パール クリスタル トーニング
①	スーパー ホワイト II (M040)	ホワイト パール マイカ (M042)
②	スーパー ホワイト II (U040)	ホワイト パール マイカ (UA13)
③	スーパー ホワイト II (040)	ホワイト パール マイカ (M042)
④	—	ブラウン メタリック (U4C5)
⑤	—	ホワイト パール マイカ (M042)

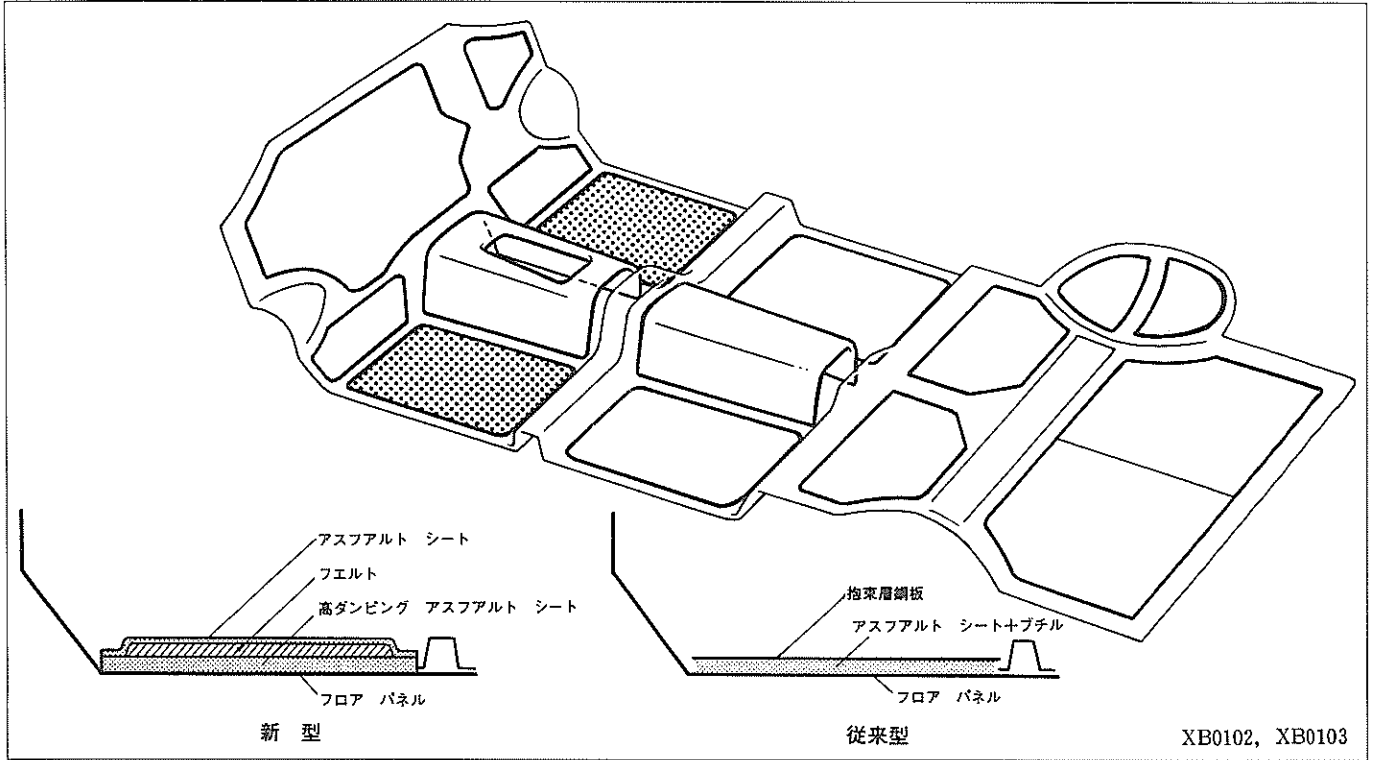


XB0034, XB0035

□構成部品

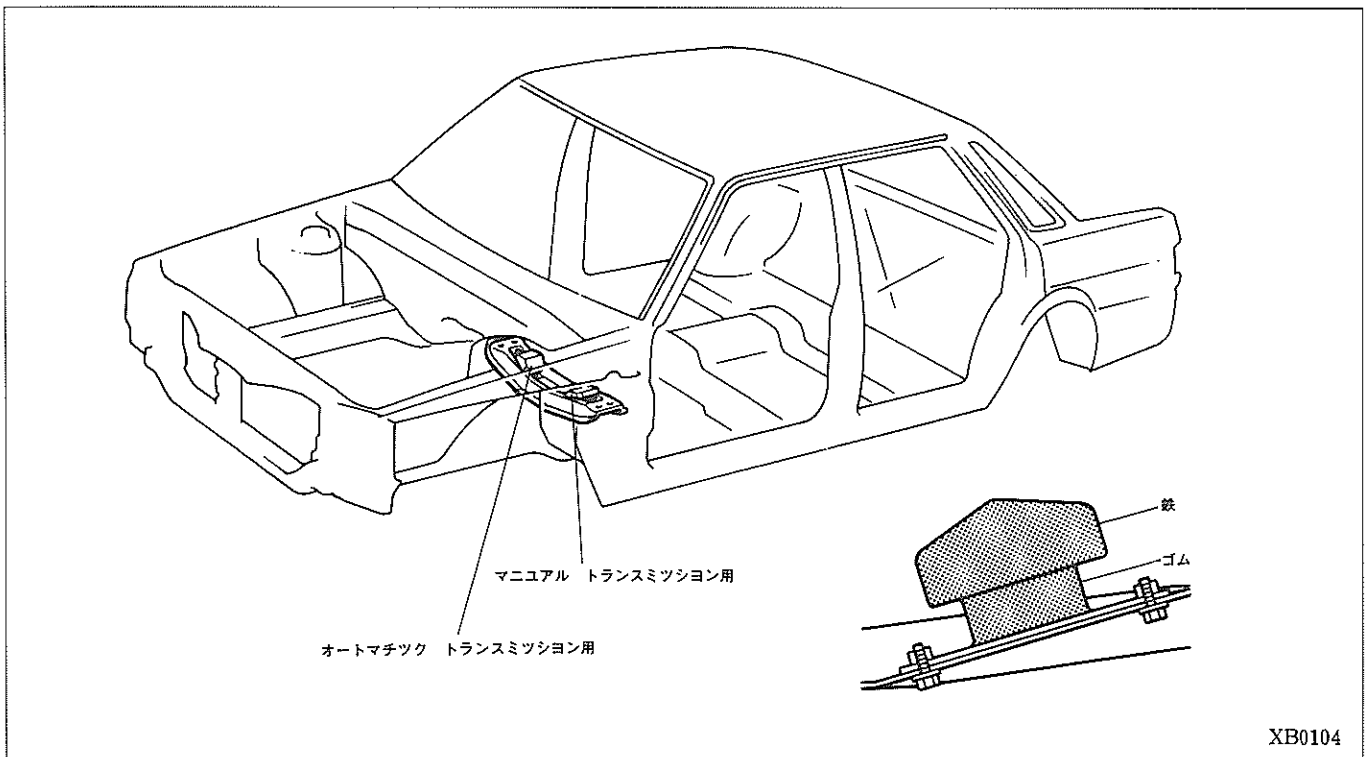
1. アンダ ボデー

- 従来から使用されているフロント フロア部のサンドイッチ制振パネルを、アスファルト シートでフェルト吸音層を包み込んだサンドイッチ構造の遮音材に変更して、さらに振動、騒音の低減をはかりました。



4

- 1G系のエンジン搭載車のエンジン リヤ サポート メンバに、新たに専用のダイナミック ダンパを採用して透過音およびこもり音の低減をはかりました。



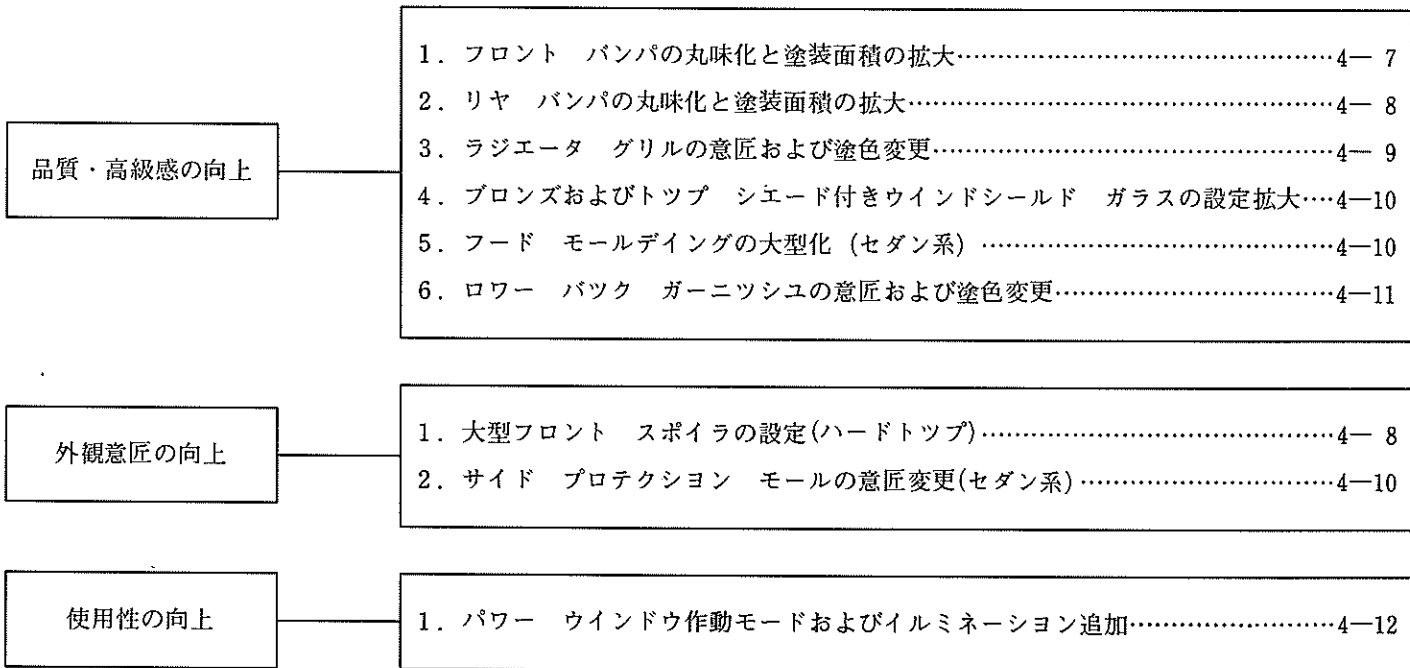
4.2	ボデー外装
------------	--------------

■概 要

フロントおよびリヤ バンパに丸味を付けるとともに、ラジエータ グリルの前出しと奥行き感を演出するグリル メツシユならびにロワー バック ガーニツシユの表面処理効果などにより、豪華なフロントおよびリヤ ビューとしました。

また、キー オフ後作動パワー ウィンドウ機構に、イルミネーション付きスイッチとオート アップ作動中ドアを閉めてもガラスが全閉するまでは作動する便利な機構を新たに採用しました。

■特 長



■機構説明

□バンパ & スポイラ

1. バンパ & スポイラ仕様

●：標準装備 ○：メーカー オプション

車 型 グレード	セ ダ ン						ハ ー ド ト ツ プ				バ ン パ			ワゴン	
	STD	GL		GR	LS	LG	グランデ		LG	グランデ		GT	DX	GL	LG
		除くタクシ ン仕様	タクシ ン				1G-EU	1G-GEU		1G-EU	1G-GEU				
PP バンパ	●	●	●										●	●	
ウレタン バンパ			○		●										
カラード ウレタン バンパ		○		●	○	●	●	●	●	●	●	●			● ^{*2}
フロント リヤ スポイラ								○ ^{*4}			○	● ^{*3}			
カラード フロント リヤ スポイラ								○			○	● ^{*3}			

*1：外板色がスーパー ホワイト IIまたはツートン カラーの場合

*4：寒冷地仕様とセパ不可

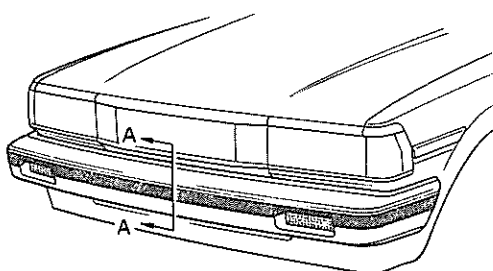
*2：従来型バンパ

*3：リヤ スポイラはオプション

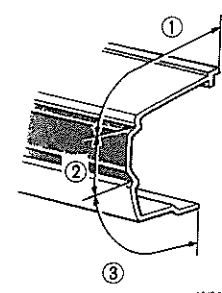
2. フロント ウレタン バンパ

●バンパの突き出し量を約20mm増やし、全体的に丸味を付けて高級・高品質イメージをさらに強化した清新なスタイルとしました。

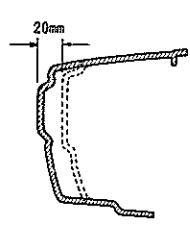
●また、バンパのベルト ライン幅を狭くして、外板色塗装面積を増やすことにより引き締まったラウンディッシュ^{*}なフロントまわりに仕上げました。

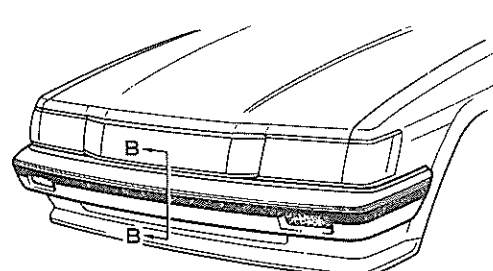


セダン

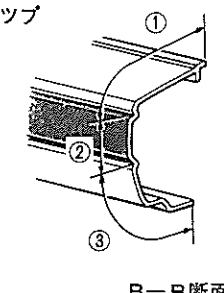


A-A断面





ハードトップ



B-B断面

カラード バンパ塗り分け仕様

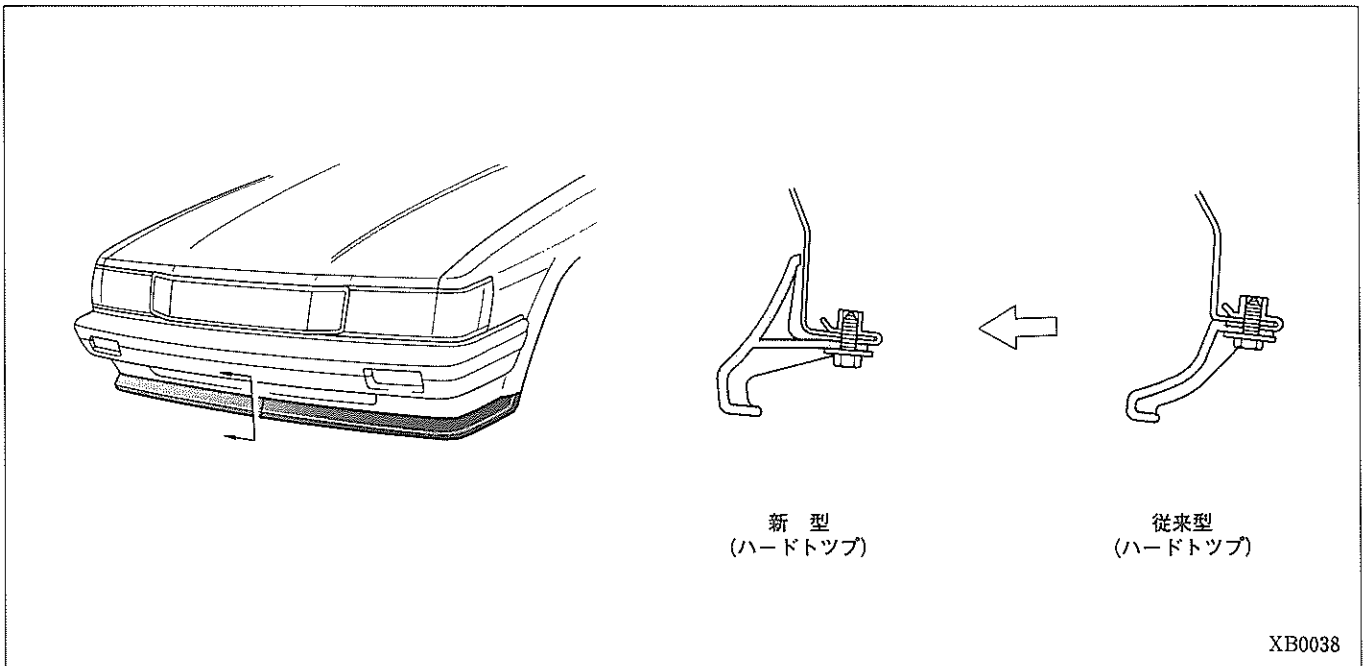
部位	外板色	
	ツートン カラー以外	ツートン カラー
①	外板色	ブラウン メタリック
②	黒素地	ブラウン メタリック
③	外板色	ホワイト パール マイカ

XB0036, XB0037

* ラウンディッシュ (Roundish)：丸味のある

3. フロント スポイラ

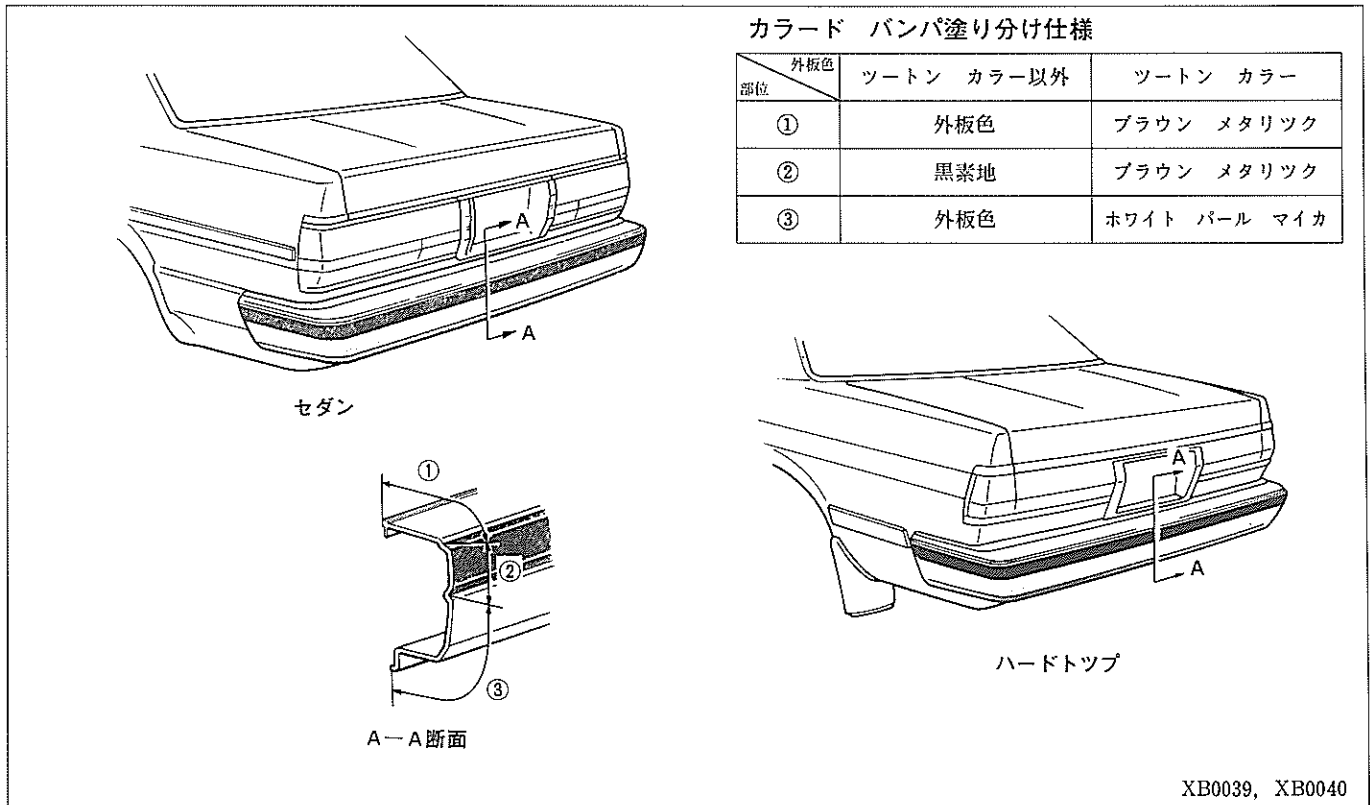
●ハードトップのフロント スポイラを従来のフロント バランス パネル下部取り付けから、前面を覆う取り付け方法に変更するとともに、フロント スポイラの大型化によるハイ パワー イメージをさらに強調しました。



XB0038

4. リヤ ウレタン バンパ

●全体的に丸味を付けて高級・高品質イメージの強化をはかるとともに、バンパのベルト ライン幅を狭くして、外板色塗装面積を増やすことにより引き締まったラウンディッシュユナリヤまわりに仕上げました。



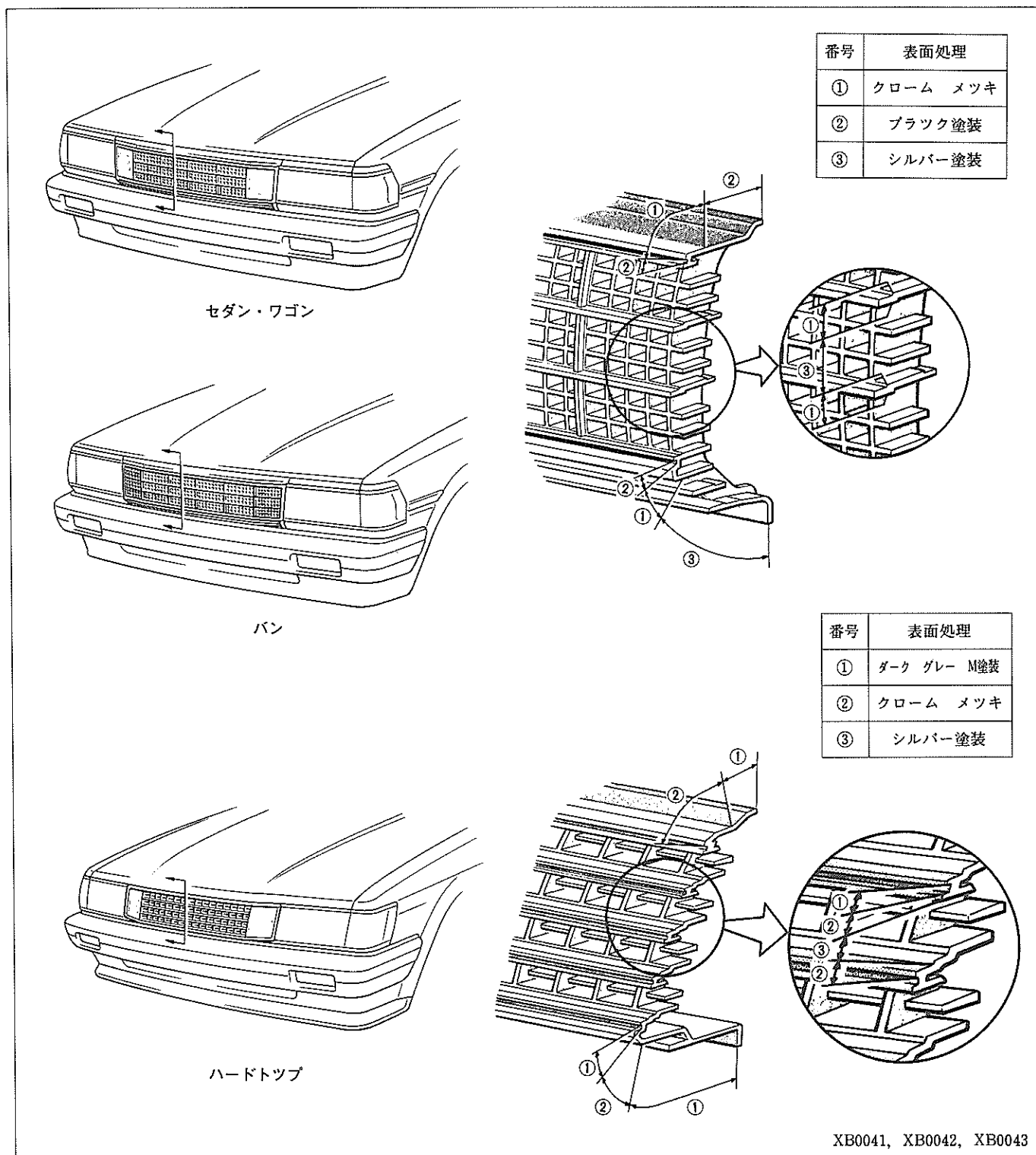
XB0039, XB0040

□ラジエータ グリル

1. ラジエータ グリル

●セダンおよびワゴンはグリル部を約10mm突き出して、押し出しの強さと繊細なグリル パターンにより、高級イメージをさらに向上させたラジエータ グリルとしました。また、ハードトップはフォグ ランプを利用して押し出し感を強くするとともに、横基調の格子で奥行きを感じさせるグリル メッシュを採用することにより、ハイ グレード パーソル カーのイメージを一段と向上させました。

●バンは、ワゴンのフォグ ランプ部がグリル メッシュの延長パターンとなるデザインに仕上げています。



□ウインドシールド ガラス

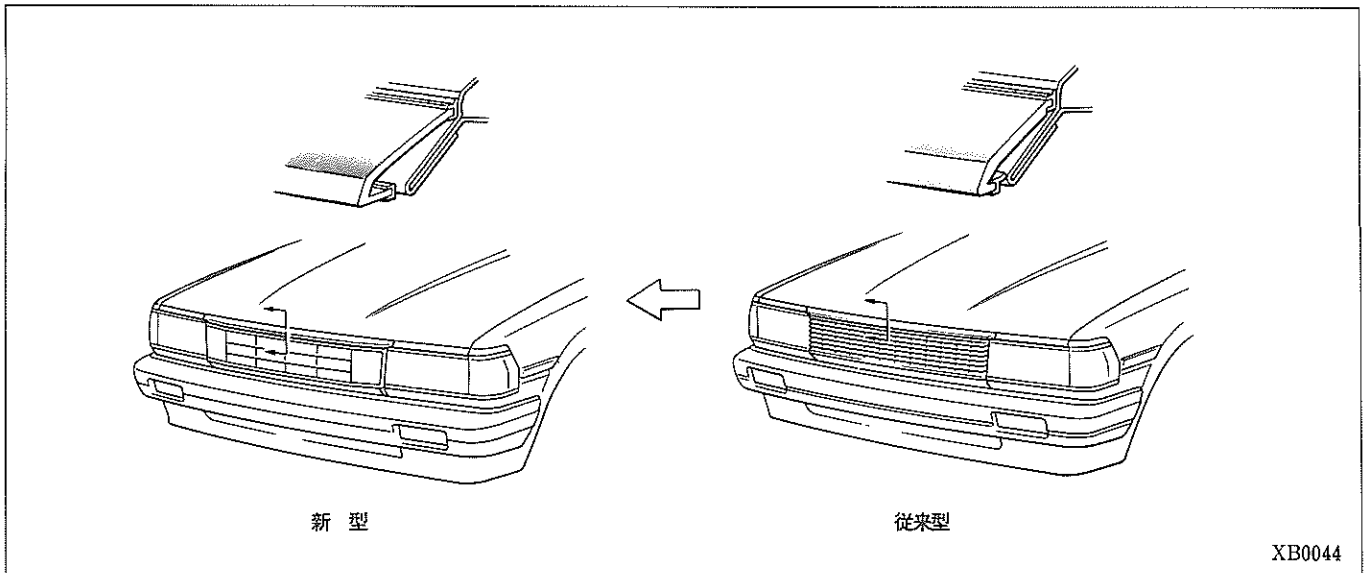
1. ウインドシールド ガラス

●GRおよびLG グレードのガラス仕様を、グランデと同じ仕様に変更しました。

□モールディング & ガーニツシュ

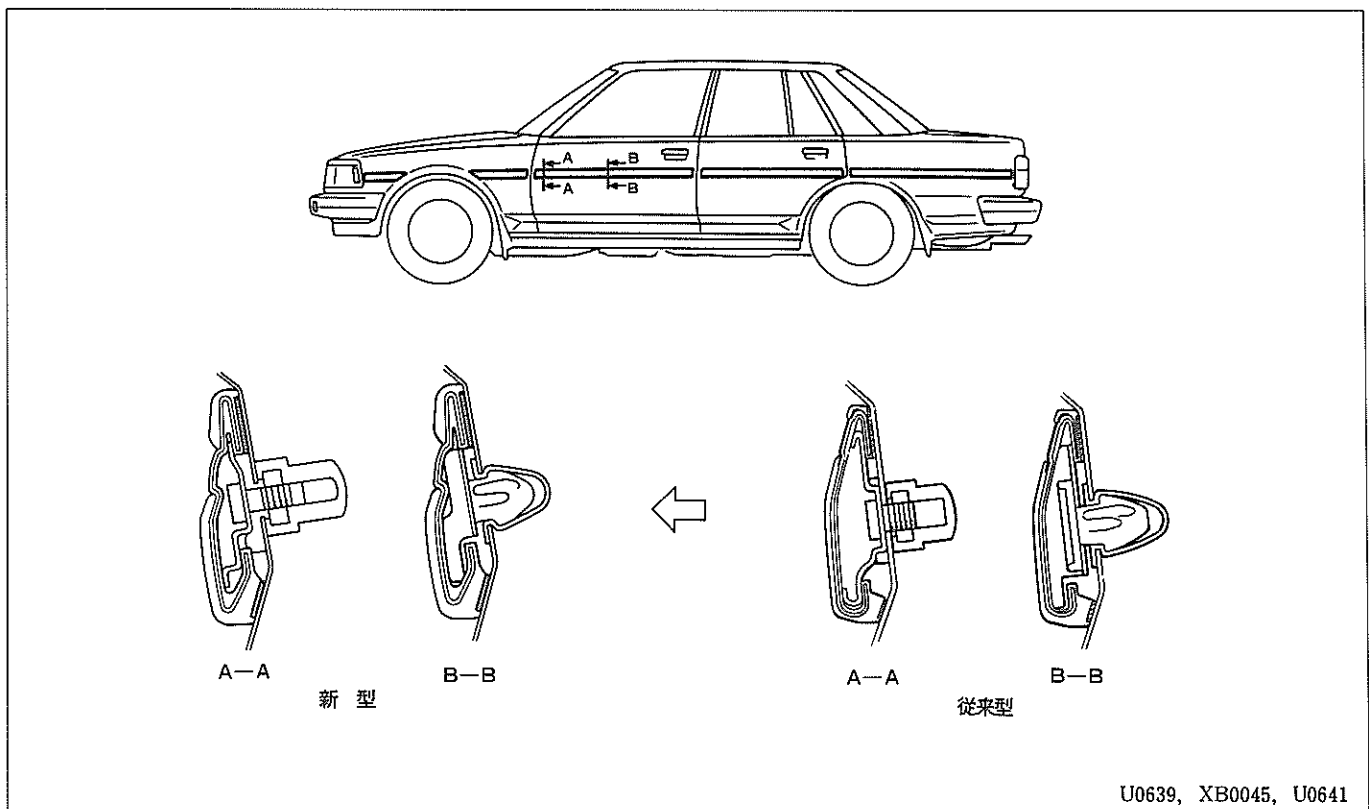
1. フード モールディング

●セダンおよびワゴン、パンのフード モールディングを大型化して、フロント ビューの高級感向上をはかりました。



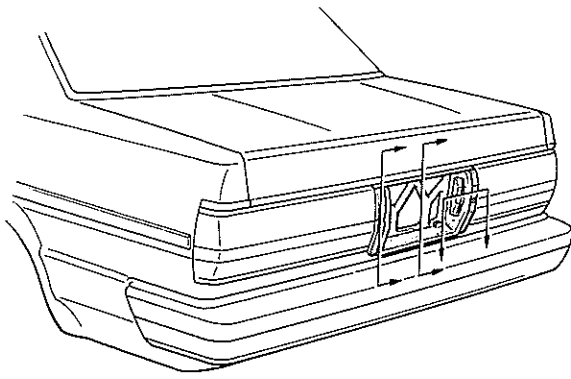
2. サイド プロテクション モールディング

●セダンおよびワゴン、パンのサイド プロテクション モール幅を広くするとともに、光沢メッキ位置を従来より下げて、重心を低く見せるデザインに変更しました。

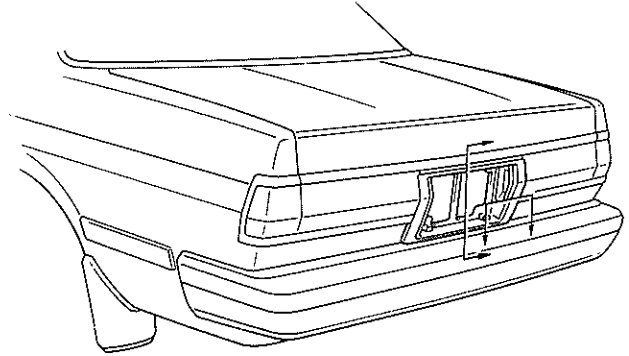


3. ロワー バック ガーニツシュ

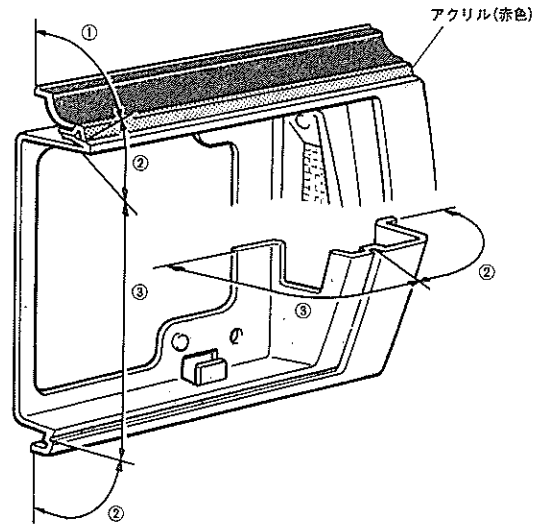
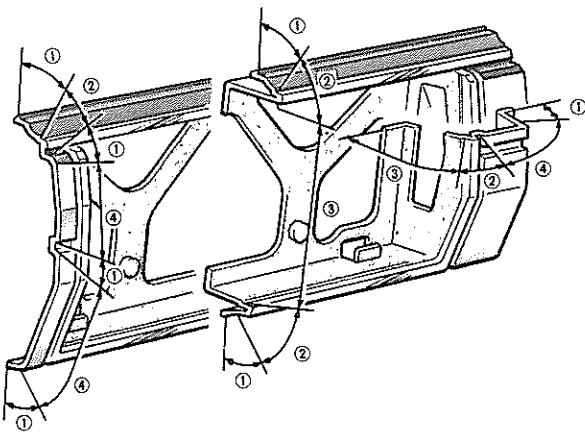
- セダンは、ガーニツシュをスモーク メツキ処理することによって新しい高級感を表現するデザインに変更しました。
- ハードトップは、ガーニツシュ上部に赤色のアクリル モールを追加して、リヤ コンビネーション ランプとの連続感を強調するデザインに変更しました。



セダン



ハードトップ



番号	表面処理
①	ブラック光沢塗装
②	メツキ
③	シルバー メタリック塗装
④	クリヤ塗装

番号	表面処理
①	ブラック塗装
②	メツキ
③	シルバー塗装

XB0046, XB0047

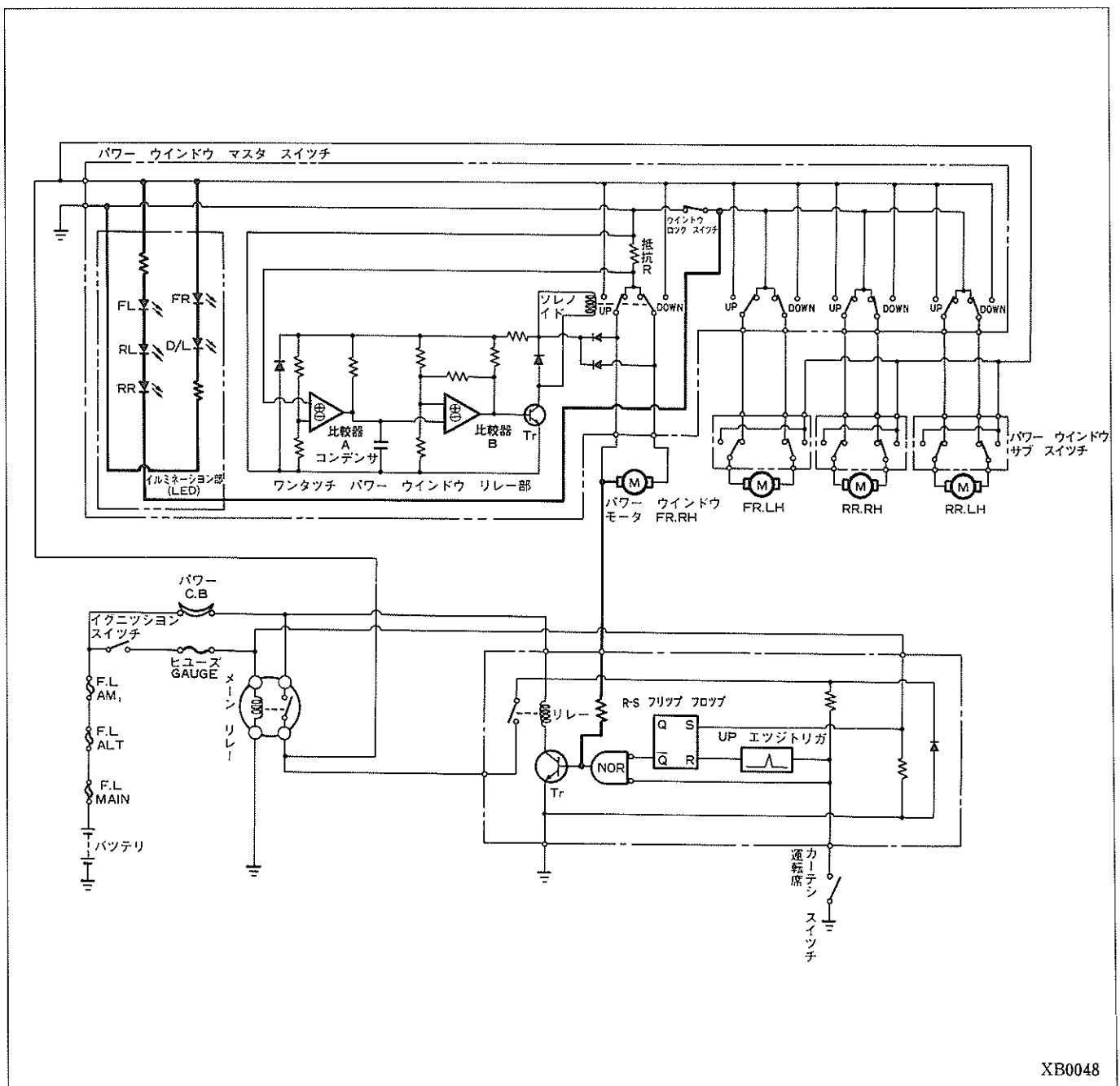
□ドア

1. パワー ウィンドウ

- キー オフ後作動パワー ウィンドウ機構に、オート アップ作動を行つている場合に、途中でドアを閉めてもウィンドウガラスが全閉までは作動する便利な機構を新たに採用しました。
- マスタ スイッチの各々のスイッチにイルミネーション ランプを内蔵し、夜間時などの操作性を向上させました。イルミネーション ランプはキー オフ機構とも連動し、イグニツション スイッチがOFFのままでも運転席ドアを開けることにより点灯します。
- なお、構造と作動の説明は変更および追加項目のみ記載してあります。

▶構造と作動

【1】回路図

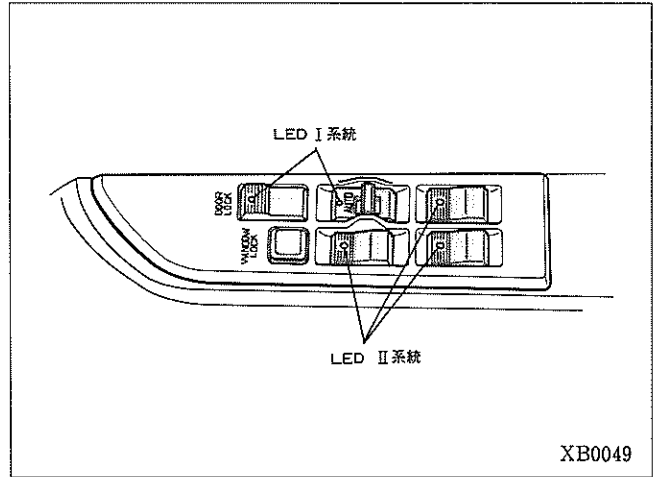


XB0048

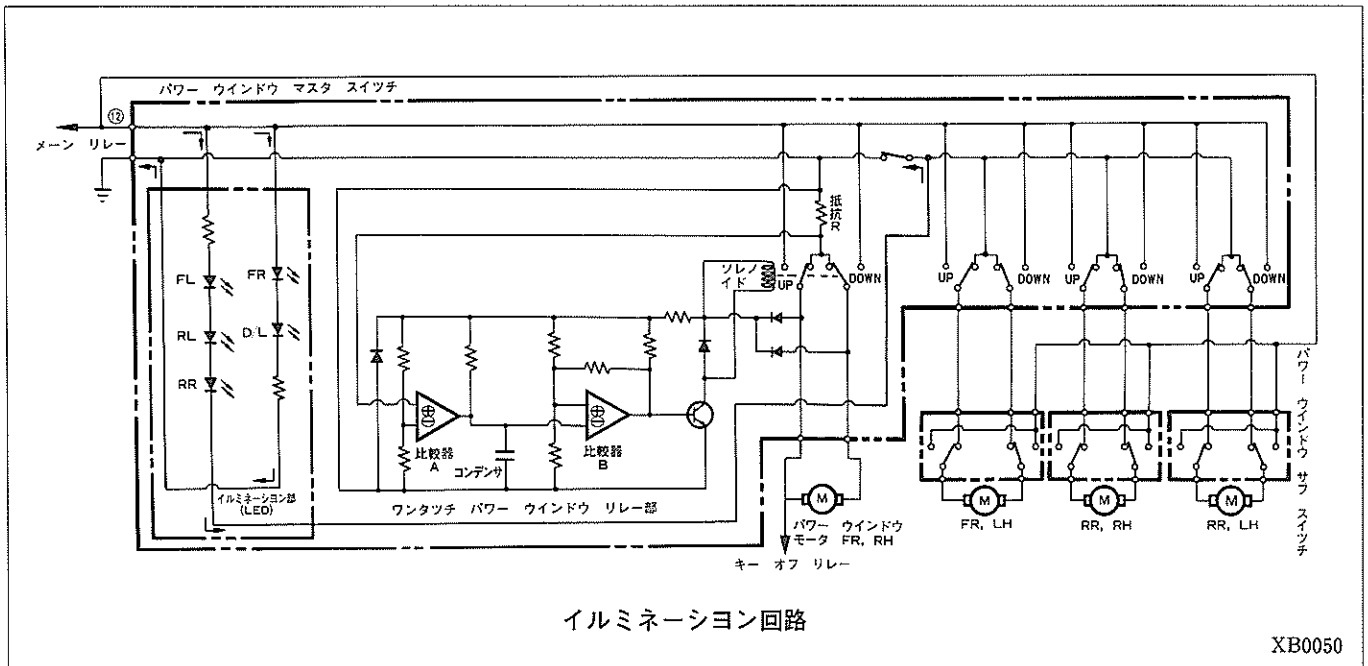
【2】作動

〔1〕イルミネーション点灯機構

発光ダイオードの回路は、電流が発光ダイオードを通過し、すぐにアースレベルになる LED I 系統と、アース回路の途中にウインドウ ロックが入っている LED II 系統があります。イグニツション スイッチ ON などによりパワー ウィンドウ スイッチの②端子から入った電流がダイオードに流れ点灯します。ただし、LED II 系統はウインドウ ロック スイッチが OFF の場合、アース回路が断たれ点灯しません。



XB0049



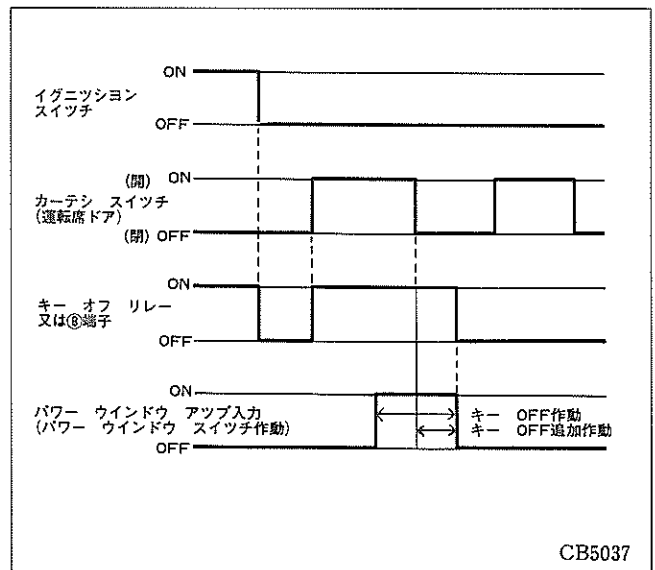
XB0050

〔2〕キー OFF 作動機構

(1) 作動概要

① 作動モード C

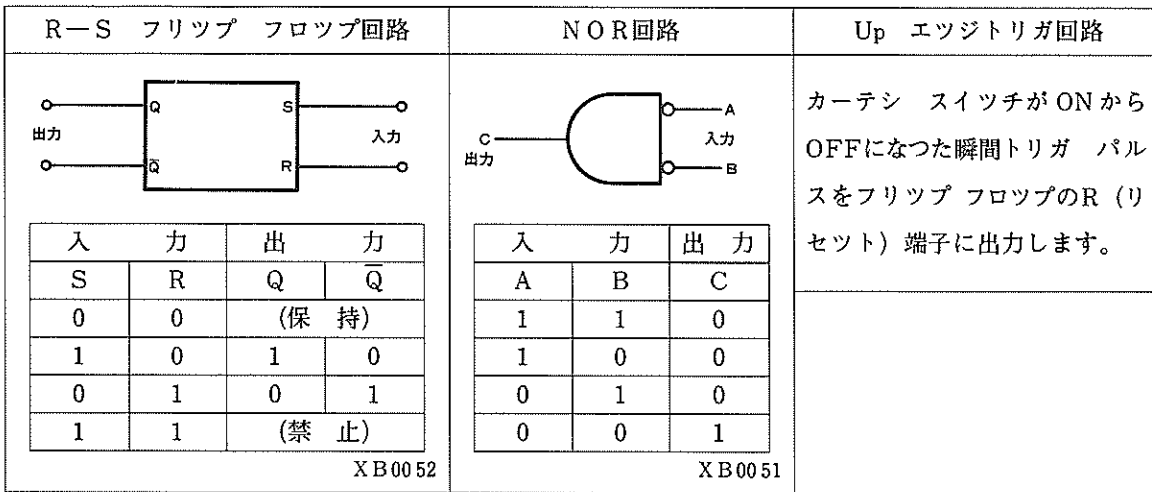
作動モード A, B の状態からカーテシ スイッチを OFF (ドア閉) させてもパワー ウィンドウは窓が全閉するまで作動を続けます。作動停止後は再作動しくなりません。



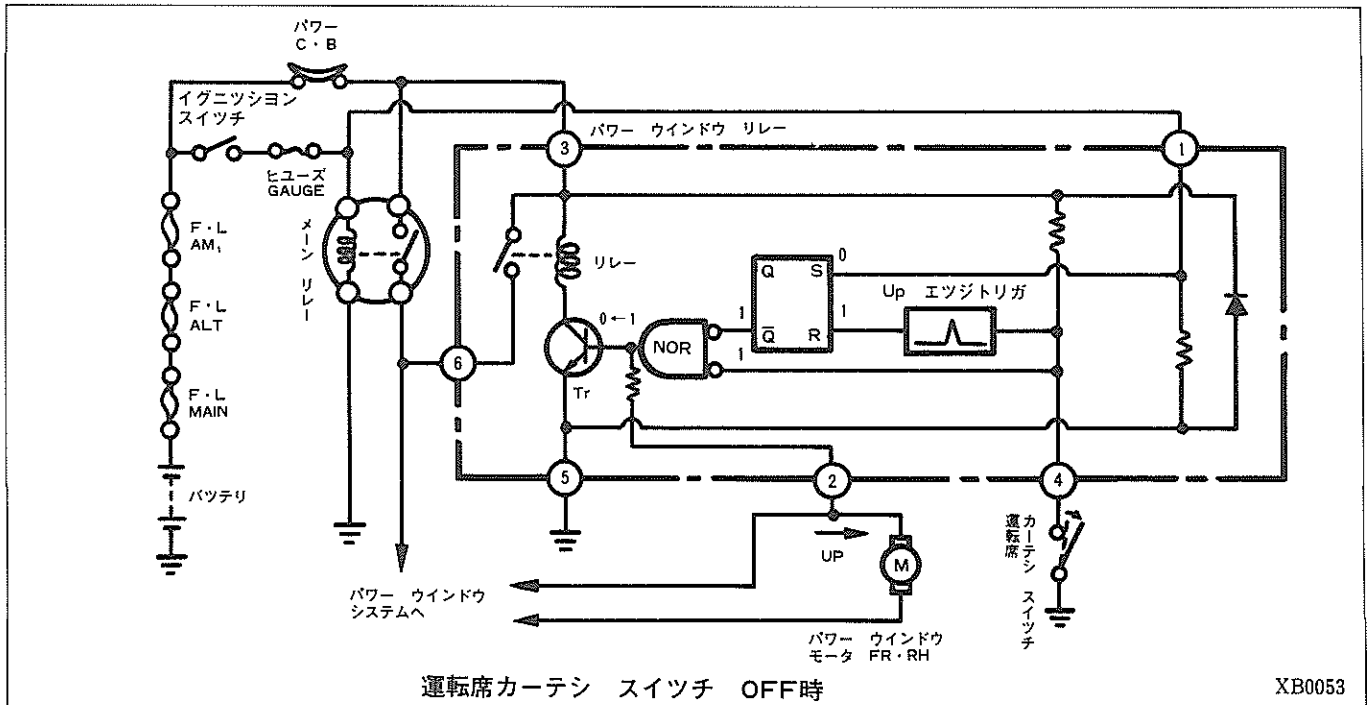
CB5037

〔3〕 作動

(1) 内部回路の作動



(2) 運転席カーテシ スイッチ OFF (ドア閉) 時



運転席カーテシ スイッチが OFF (ドア閉) すると、NOR ゲートへは③端子を通り1が入力され、NOR ゲートの出力は1から0になりますが、オート アップ作動中は端子②から1が入力されているためTrはOFFせず、ベース電流が流れてパワー ウィンドウ リレーがONを継続します。この作動はガラスが上昇し終わると (オート ストップ) モータに電流が流れなくなり終了します。

また、運転席カーテシ スイッチが ON から OFF (ドア開→閉) になった瞬間、Up エッジトリガ回路によりフリップ フロップの R 端子に1が入力されます。また、S 端子には0が入力されていますのでフリップ フロップの出力 (\bar{Q}) は1となります。

したがって、再びカーテシ スイッチが ON (ドア開) して NOR ゲートに0が入力されても、フリップ フロップの出力1によつて NOR ゲートの出力は0のままです。よつて、一旦運転席ドアを閉じてしまうと、再度ドアを開いてもパワー ウィンドを作動させることができません。

4.3 ボデー内装

■概要

一部グレードのシート表皮材ならびにドア トリム オーナメント表皮材と、ボデー カラーとの調和を考えた室内色の変更により豪華さをさらに向上させた室内に仕上げました。また、シートおよびシート ベルト アジャスタ機能面では、スーパーラグジュアリー シート (運転席) にマルチアジャスタブル パワー シートを新規設定し、スポーツ シート (運転席) にはエア式ランバ サポート機構を追加して、なおかつフロント シート ベルトを全車アジャスタブル ショルダー ベルト アンカー機能を組み込んで、多種多様のドライビング ポジションに対応すべく使用性に富んだ各機能を実現しました。

■特長

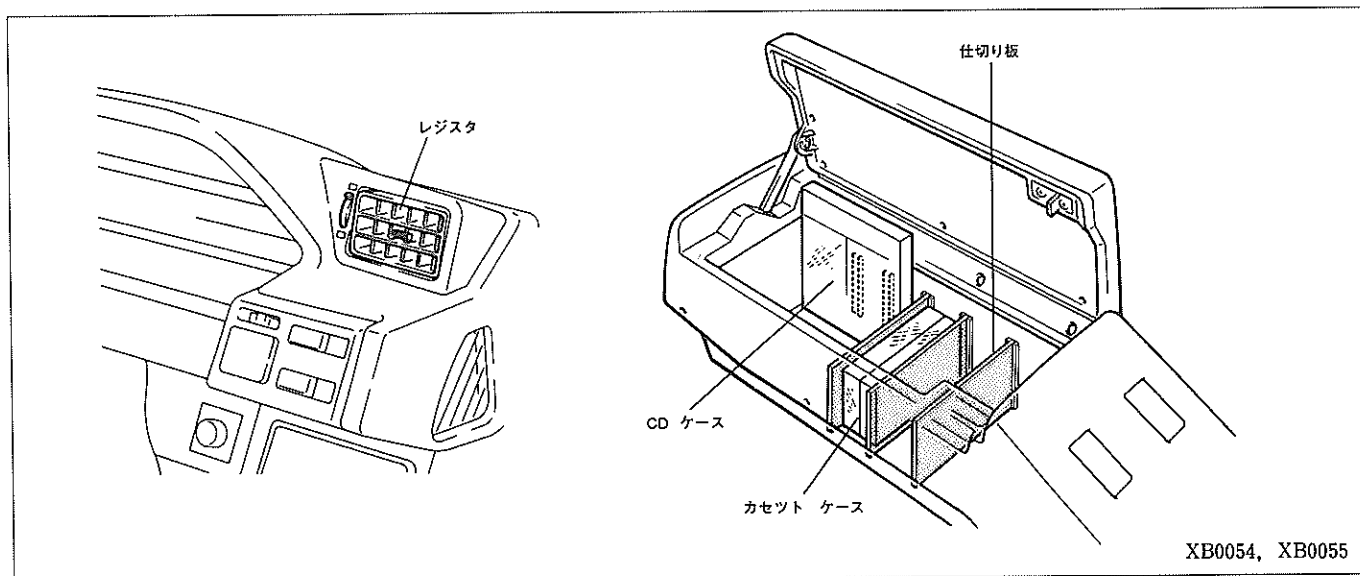
品質・高級感の向上	<ol style="list-style-type: none"> 1. シート表皮材の変更 (一部グレード) 4-16 2. ドア トリム ウエルド パターンの変更 4-30 3. 室内色の変更 4-30
使用性・快適性の向上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕切り板付きコンソール ボックスの設定 4-15 2. マルチアジャスタブル パワー シートの設定(グランデ ツインカム 24) 4-17 3. エア式ランバ サポート付きスポーツ シートの採用(GT ツイン ターボ) 4-26 4. リヤ シート ヘッドレストの変更 4-28 5. アジャスタブル ショルダー ベルト アンカーの採用 4-29

□インストルメント パネル & コンソール ボックス

1. レジスタ & コンソール ボックス

●メータ フード右側レジスタの吹き出し上下方向を、ユニットごと動かして調節するバレル タイプに変更して風量感の向上をはかりました。

●オートマチック トランスミッション用大型コンソール ボックス内に取りはずしおよび取り付け可能な3枚の仕切り板を設定し、5箇所任意の位置に取り付けることによりカセット ケースやCD ケースの収納性を向上させました。



XB0054, XB0055

□シート & トリム

1. シート バリエーション

●量販グレードを中心に、さらに高品質な表皮材（4種類）を新採用しました。

- ① グランデ（1G-GEU車）は、高級ダブル ラツセルにシート メーン部分のみ横ストライプ柄を採用しました。
- ② グランデ（1G-EU車）は、ニットとしては最高級のベロア調*⁵キングス ニットを採用しました。
- ③ セダンおよびワゴンのLGは、従来のモケットに対して密度感と高級感にあふれるダブル ラツセルに変更し、グレードアップをはかりました。
- ④ ハードトップのLGおよびGRは、従来のモケットに対して高級感のある新ニットを採用しました。

シート バリエーション

		セダン						ハードトップ				バン		ワゴン		
		STD		GL	GR	LS	LG	グランデ		LG	グランデ		GT	DX	GL	LG
		通発レザー	フアブリック ^{*1} (織物)	フアブリック (織物)	フアブリック (断ニット)	フアブリック (織物)	フアブリック (断Wラツセル)	断 フアブリック	断 フアブリック	断 フアブリック	断 フアブリック	断 フアブリック	断 フアブリック	断 フアブリック	断 フアブリック	断 フアブリック
シート表皮(表皮材)																
フロント ヘッドレスト	小型塩ビ	○	○	⊗ ^{*2}		⊗								○	○	
	小型フアブリック			◎	○	◎	○			○						○
	大型フアブリック前後調節式							○	○		○	○				
	スポーツ シート用											○				
ランバ サポート	メカニカル手動式							○	◎		○	◎				
	エア ポンプ手動式											◎				
	電動式							▲			▲					
	メカニカル手動式 (助手席用)	○ ^{*3}	○ ^{*3}													
サイド サポート	メカニカル手動式							○			○	○				
シート上下 アジャスタ	手動2ウェイ式	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○	○	○	○			○						○
	手動4ウェイ式	○ ^{*3}	○ ^{*3}					○	○		○	○	○			
	電動4ウェイ式								▲		▲					
リヤ ヘッドレスト	固定式				○		○			○						○
	上下調節式			○ ^{*2}												
	前後調節式							◎	◎		◎	◎	◎			
電動シート スライド アジャスタ									▲		▲					
電動リクライニング アジャスタ									▲		▲					

*1: 教習車グレード パッケージ

*2: タクシー仕様のみ継続

*3: 教習車のみ

*4: 除く教習車

*5: ベロア調: 細かい毛をたてた、なめらかでつやのある織物

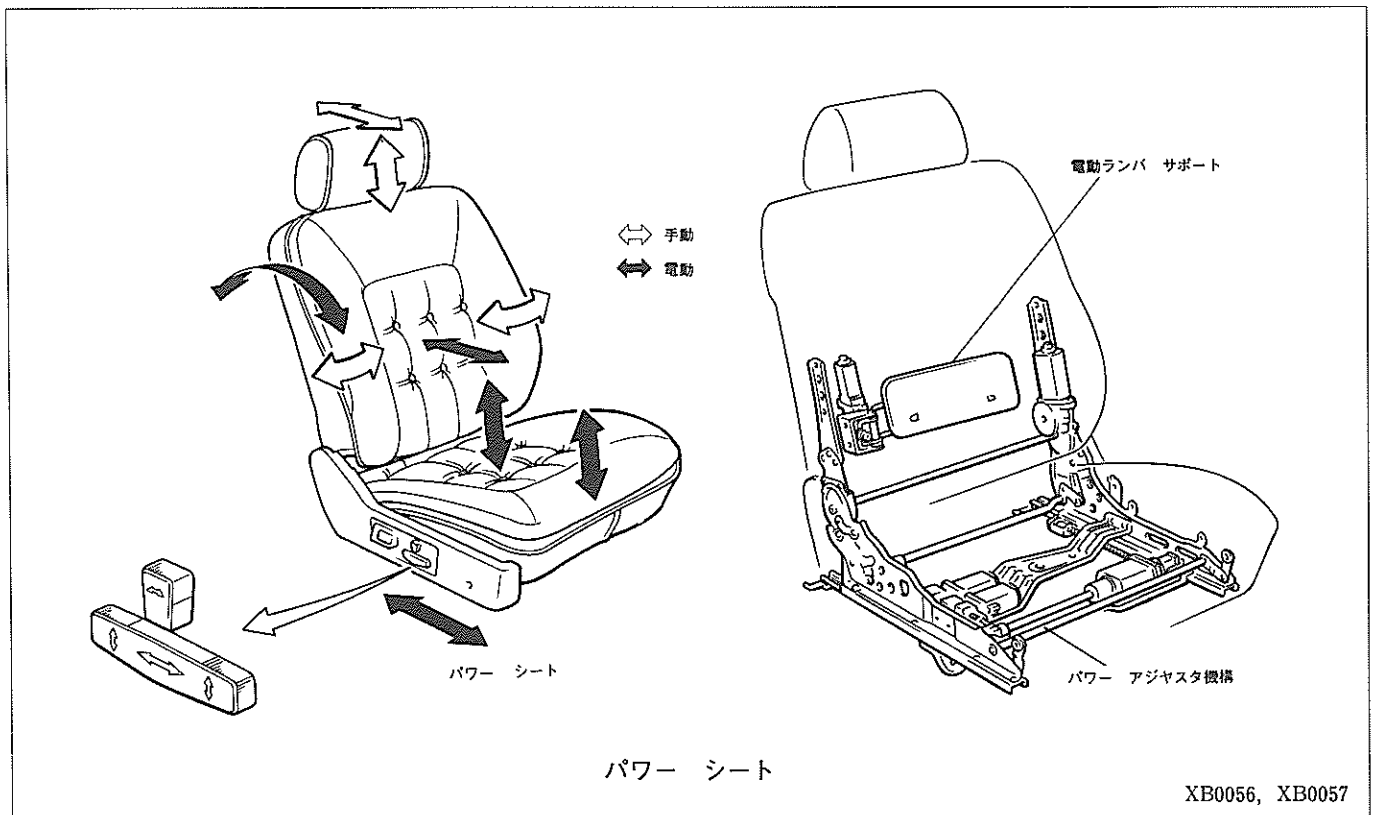
断: 新表皮材

⊗: 表皮材変更

	新設定	継続	廃止
標準装備	◎	○	⊗
メーカーオプション	▲	△	⊗

2. フロント シート (パワー シート)

●グランデ 1G-GEU 車に電動パーチャル、スライド、リクライニング & ランバ サポート付きマルチアジャスタブル
 パワー シートを設定して、さらに快適で操作性の良いシートにしました。

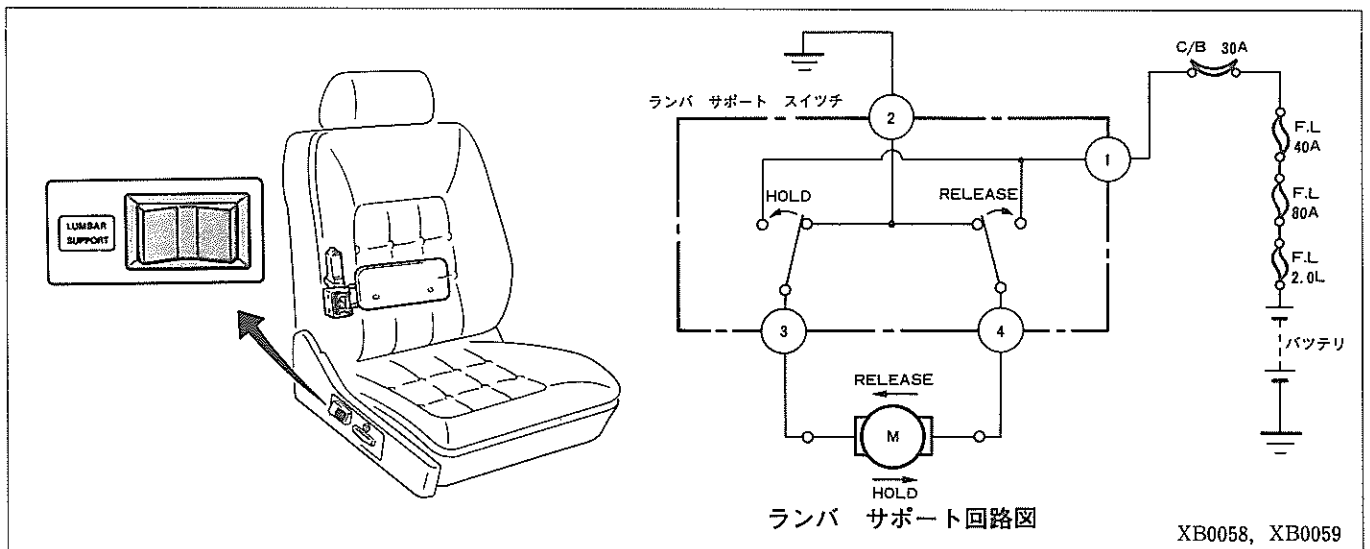


▶構造と作動

【1】電動ランバ サポート

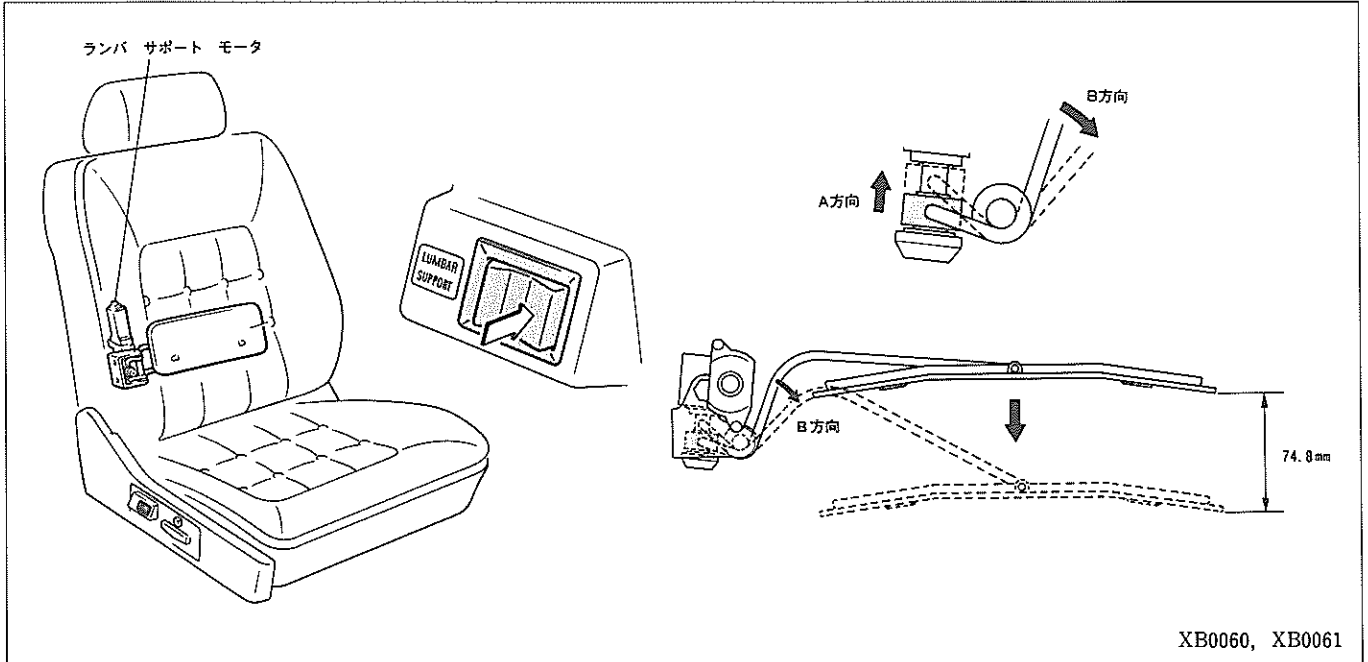
(1) 構造

従来の手動レバー式からスイッチ操作によりモータを使つてランバ サポートの作動を行うものです。電動ランバ サポートはモータのスクリュ ナットに連結されているトーシヨ スプリングを動かすことにより、押し板を前後に動かしてシート バックの支持力を得るものです。スイッチはドライバーズ シート クッション右側に設置して、ドライビング姿勢のまま操作できるようにしました。



〔2〕 作動

ドライバーズ シート クッション右側に取り付けられたスイッチの前側を押すと、ランバ サポート モータが回転してスクリュ ナットがA方向に移動します。そしてスクリュ ナットに連結されているトーション スプリングをB方向に動かしてシート バックの支持力を得ます。この支持力となる押板部の前後ストロークは74.8mmあり、この間は無段階に調節できます。またスイッチを後側に押せば、前側と逆の作動をします。



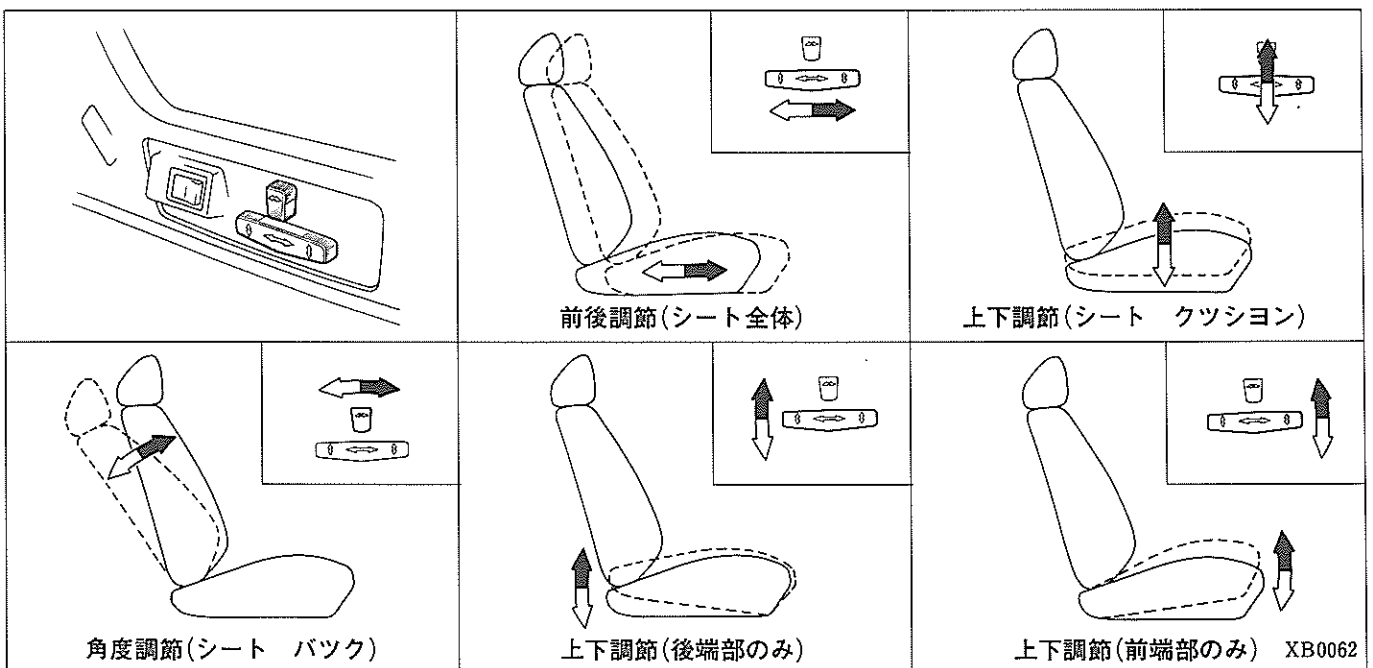
XB0060, XB0061

【2】 電動シート スライド & パーチカル アジャスタ & シート リクライニング

〔1〕 機能

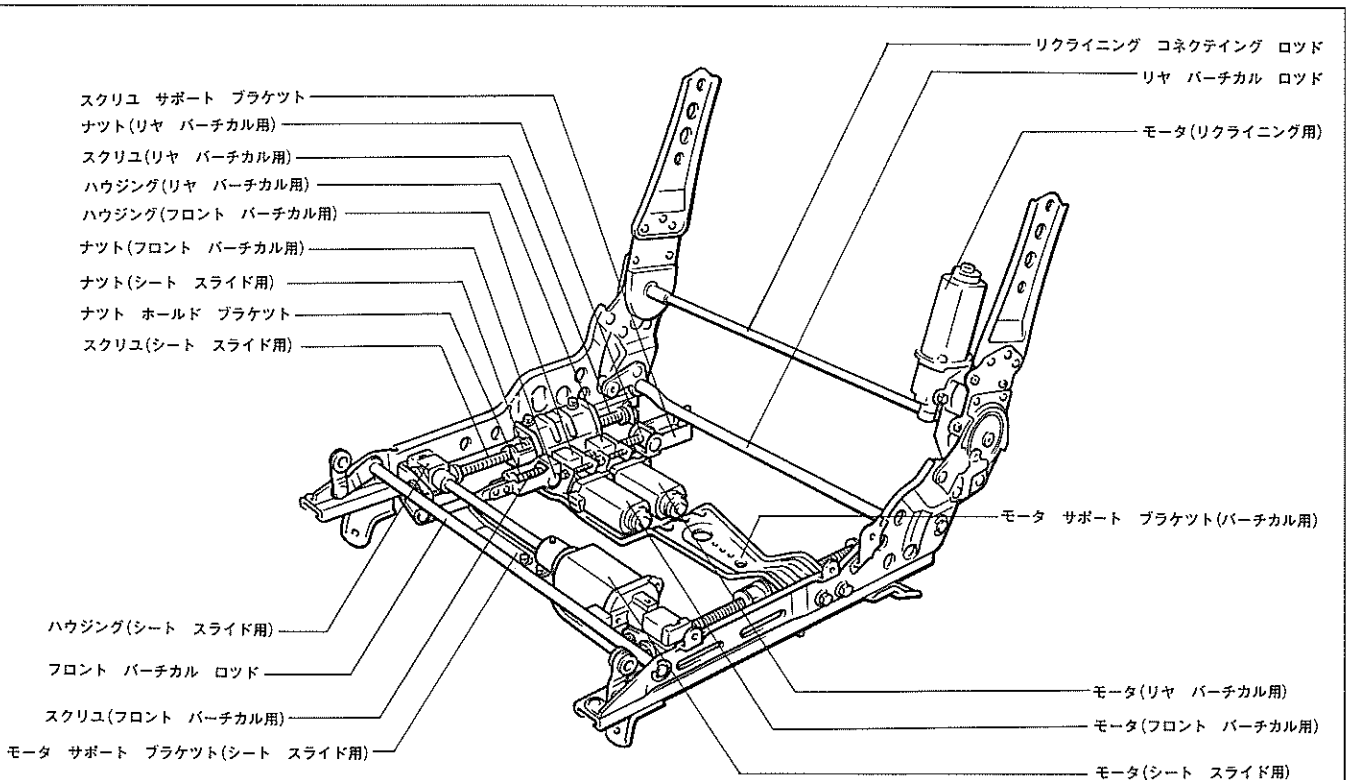
(1) シート スイッチ

シート スイッチは、ドライバーズ シートのクッション右側に取り付けられており、内蔵した4個のスライド スイッチによりノブ操作を変えることでシートは10通りの動きをします。

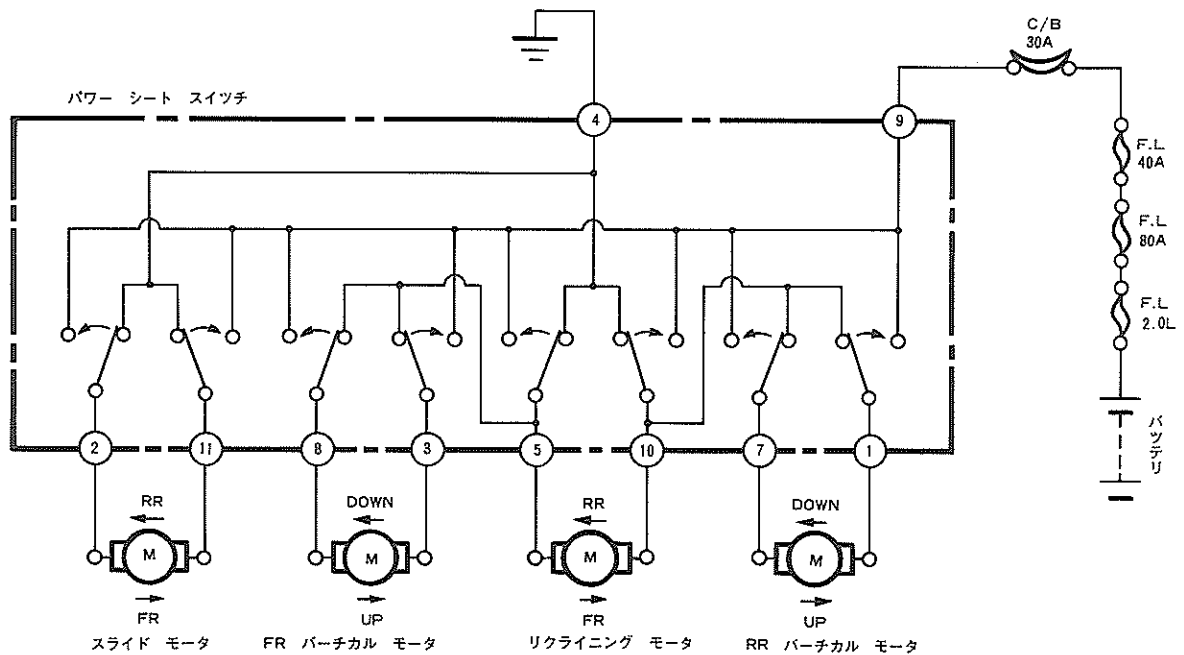


(2) パワー シート アジャスタ

パワー シート アジャスタは、ドライバーズ シートをスイッチ操作によりモータを使つて、シートの前後方向、前端口の上下方向、後端口の上下方向、シート バックの角度を無段階に調節するものです。



構成図



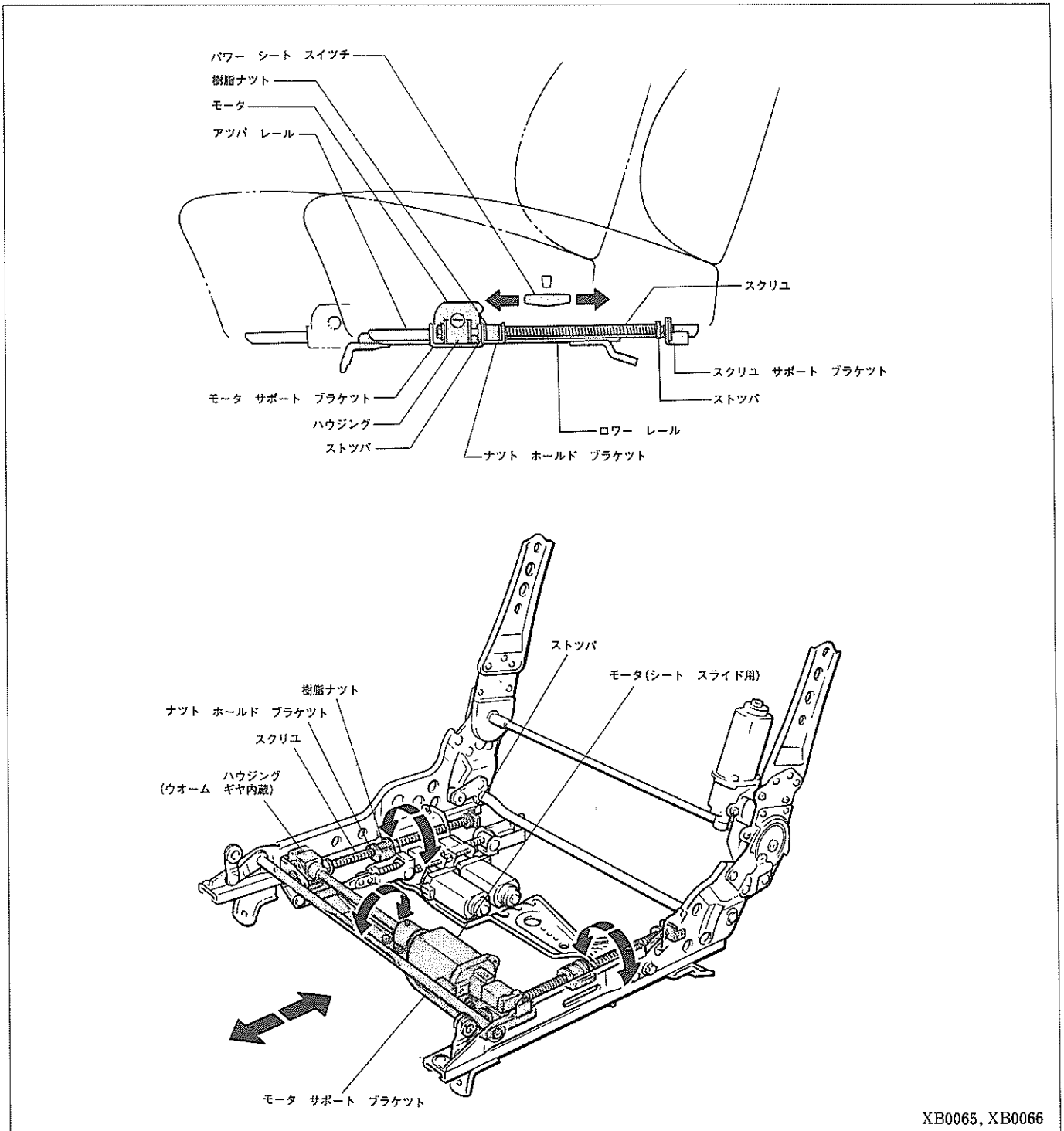
シート スイッチ回路図

XB0063, XB0064

〔2〕 作動

(1) 前後方向(シート スライド)

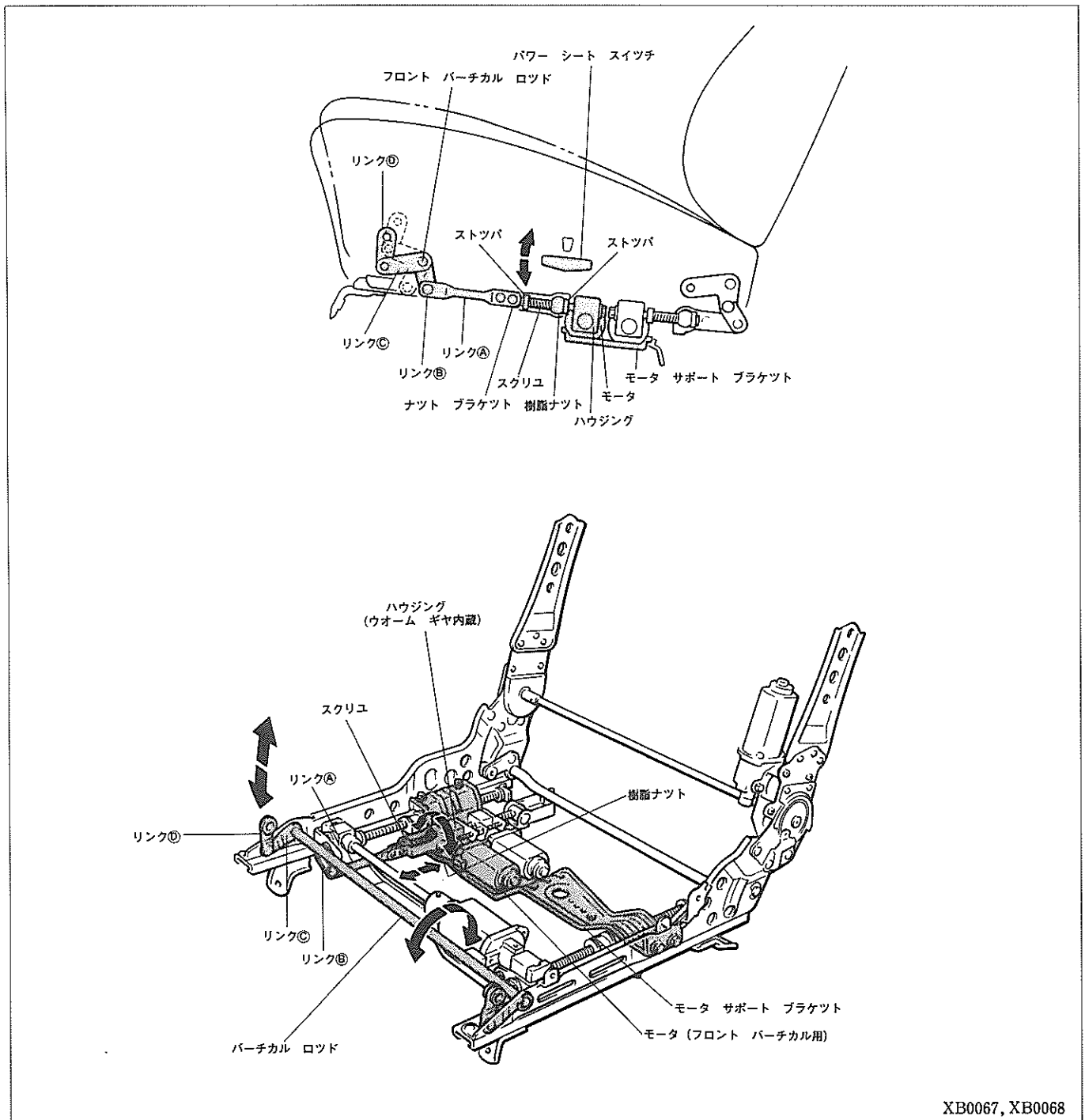
スイッチを前または後側に操作してモータが回転すると、ハウジング内のウオームギヤが回転しスクリュを回します。スクリュは回転することによりローレルに取り付けられスクリュにかみ合っている樹脂ナットを回そうとしますが、樹脂ナットがナットホルドブラケットでローレルに固定されているため回転することができずスクリュがモータとともに動きます。モータ & スクリュは、モータサポートブラケットを介してアツパレールに固定されているためアツパレールに固定されているシート全体がスイッチの操作方向に移動を始めます。シートのスライド量はスクリュに取り付けられているストツパにより決められ最大210mmのスライド量があります。



XB0065, XB0066

(2) 上下方向(前端部)

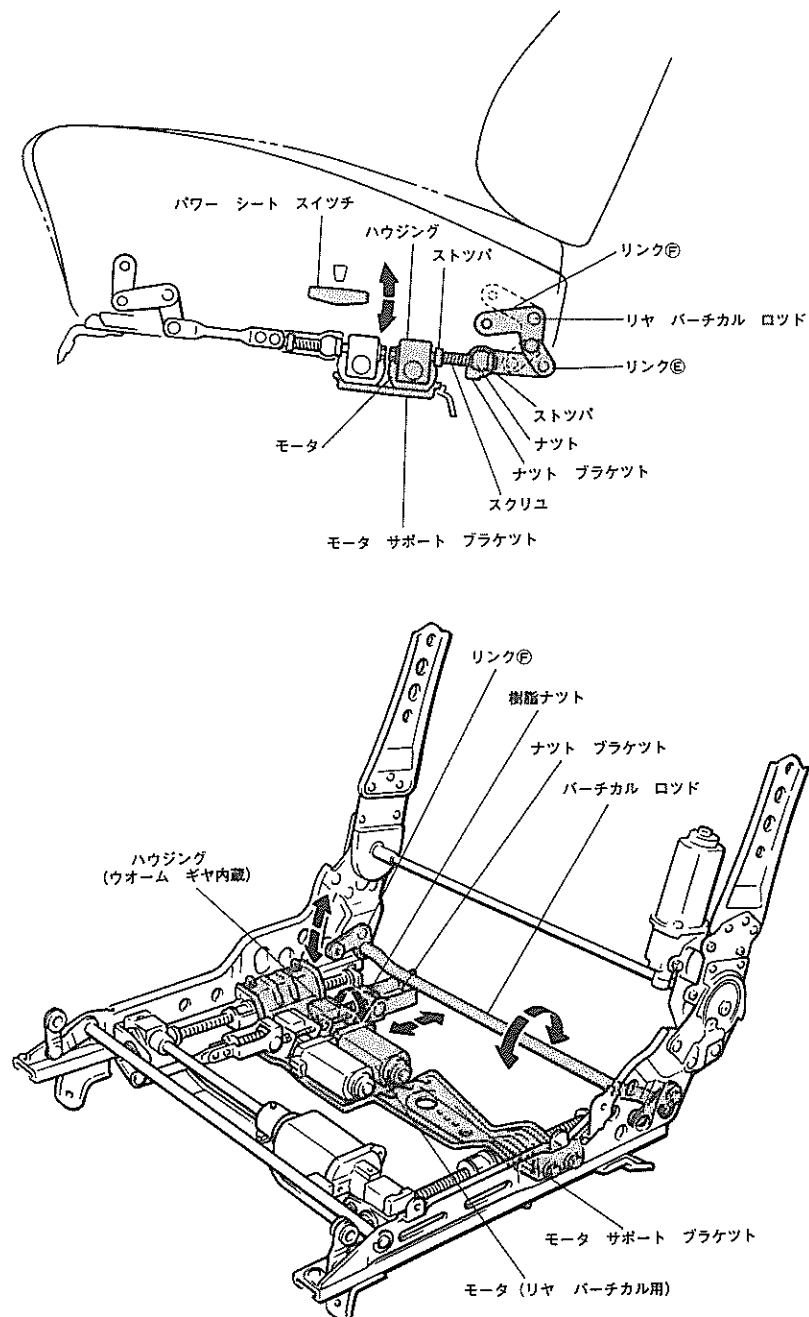
スイッチの前側を上または下側に操作すると、モータ サポート ブラケットを介してアツパ フレームに固定されたモータが回転してハウジング内のウーム ギヤが回転しスクリュを回します。スクリュが回転することによりスクリュと噛み合っている樹脂ナットが回転しようとしませんが樹脂ナットは、ナット ブラケットで固定されているためナット ブラケットとともにスクリュの回転により移動します。ナット ブラケットにはリンク④を介してバーチカル ロッドに溶接されたリンク⑤が継がれているためナット ブラケットの移動によりバーチカル ロッドは回転運動を行います。このバーチカル ロッドの回転運動がバーチカル ロッドに溶接されたリンク⑥によりシート前端に継がれているリンク⑦に伝わりシート前端をシート スイッチの操作方向に動かします。バーチカル アジャスタの調節量は、スクリュに取り付けられたストツパにより決められ最大30mmあります。



XB0067, XB0068

(3) 上下方向(後端部)

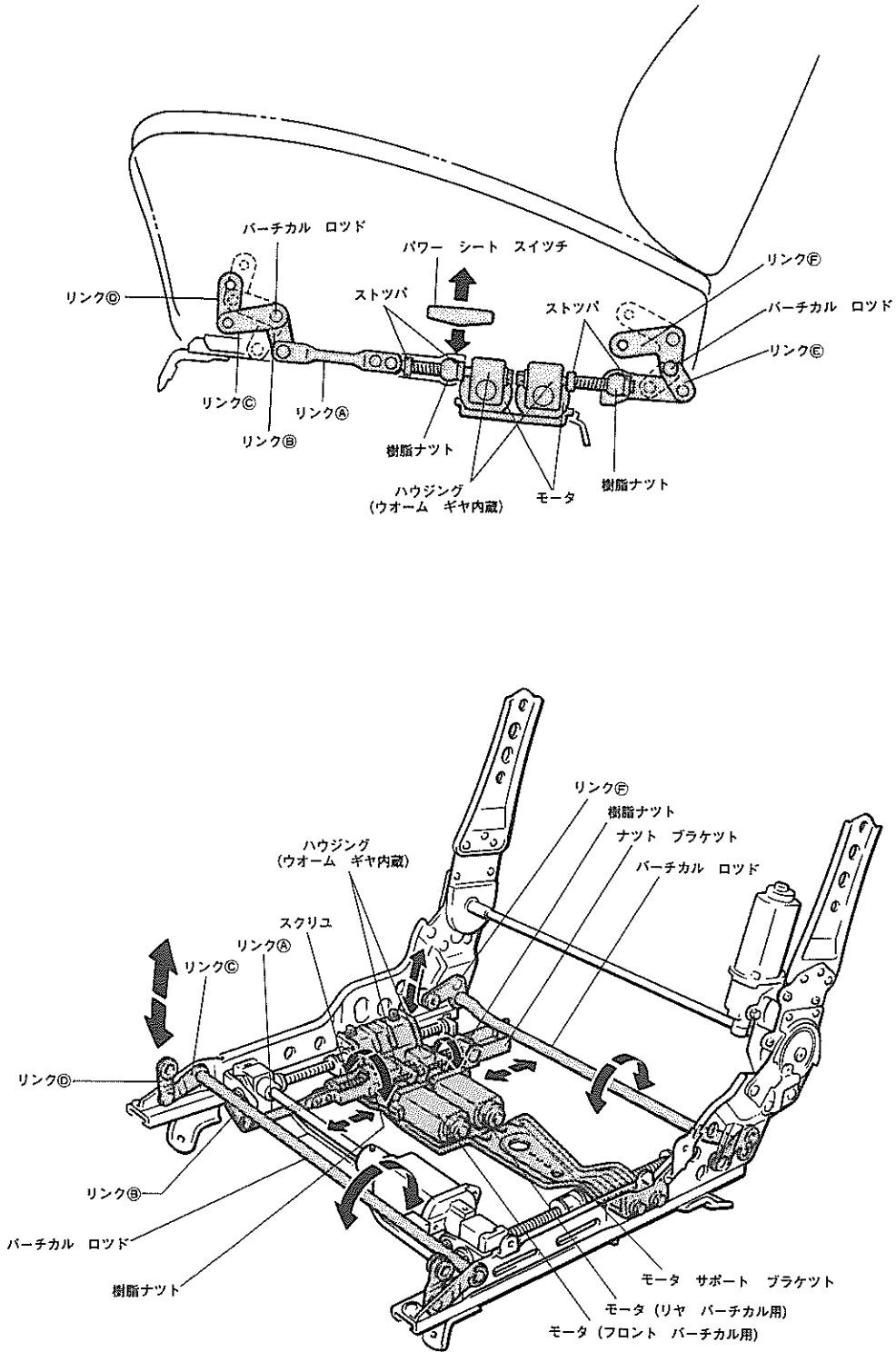
スイッチの後側を上または下側に操作すると、モータ サポート ブラケットを介してアツパ フレームに固定されたモータが回転してハウジング内のウオーム ギヤが回転しスクリュを回します。スクリュが回転することによりスクリュと噛み合っている樹脂ナットが回転しようとしませんが樹脂ナットはナット ブラケットで固定されているためナット ブラケットとともにスクリュの回転により移動します。ナット ブラケットにはリヤ パーチカル ロッドに溶接されたリンク⑥が継がれているためリヤ パーチカル ロッドはナット ブラケットの移動により回転運動をします。リヤ パーチカル ロッドにはシートと継がれているリンク⑦も溶接されているため、ナット ブラケットによるリヤ パーチカル ロッドの回転運動はリンク⑦を介してシート後端をシート スイッチの操作方向に動かします。リヤ パーチカル アジャスタの調節量はスクリュに取り付けられたストツパにより決められ最大30mmあります。



XB0069, XB0070

(4) 上下方向(シート全体)

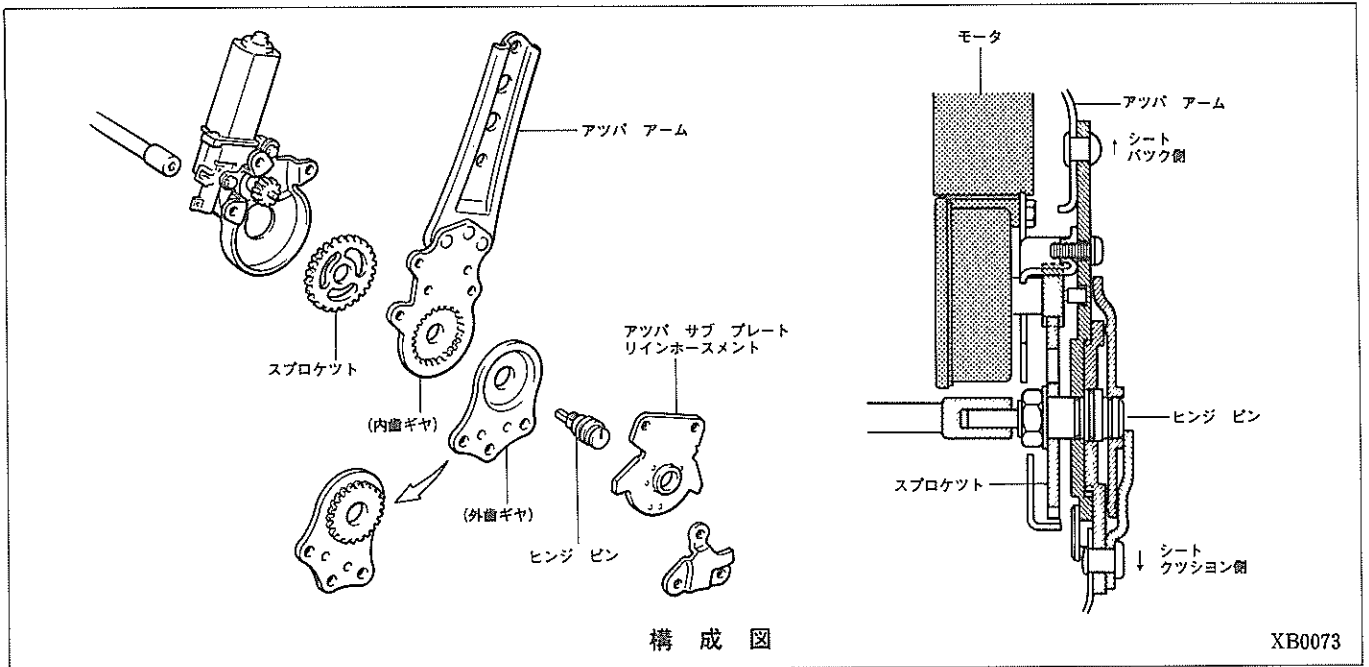
スイッチ全体を上または下側に操作するとフロント & リヤ パーチカル用モータが同時に働き、シート全体がヒップポイントにおいて最大30mm変化します。



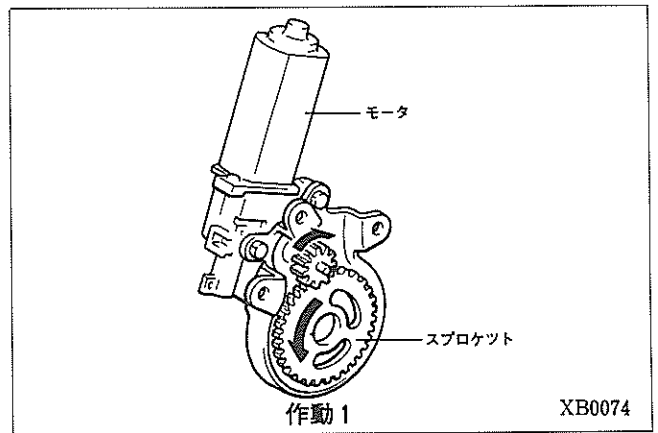
XB0071, XB0072

(5) リクライニング(シート バック)

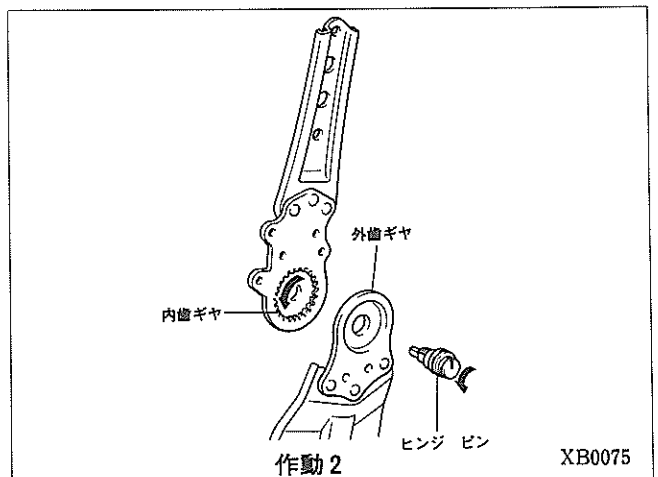
主要機能部品は下図のようになっており、ヒンジ ピン(偏心軸)の中心A点は、外歯ギヤ(歯数29枚)と同軸になっています。また、もう一方の中心B点はアツパ アームに設けられた内歯ギヤ(歯数30枚)およびスプロケットの回転中心と同軸になっています。



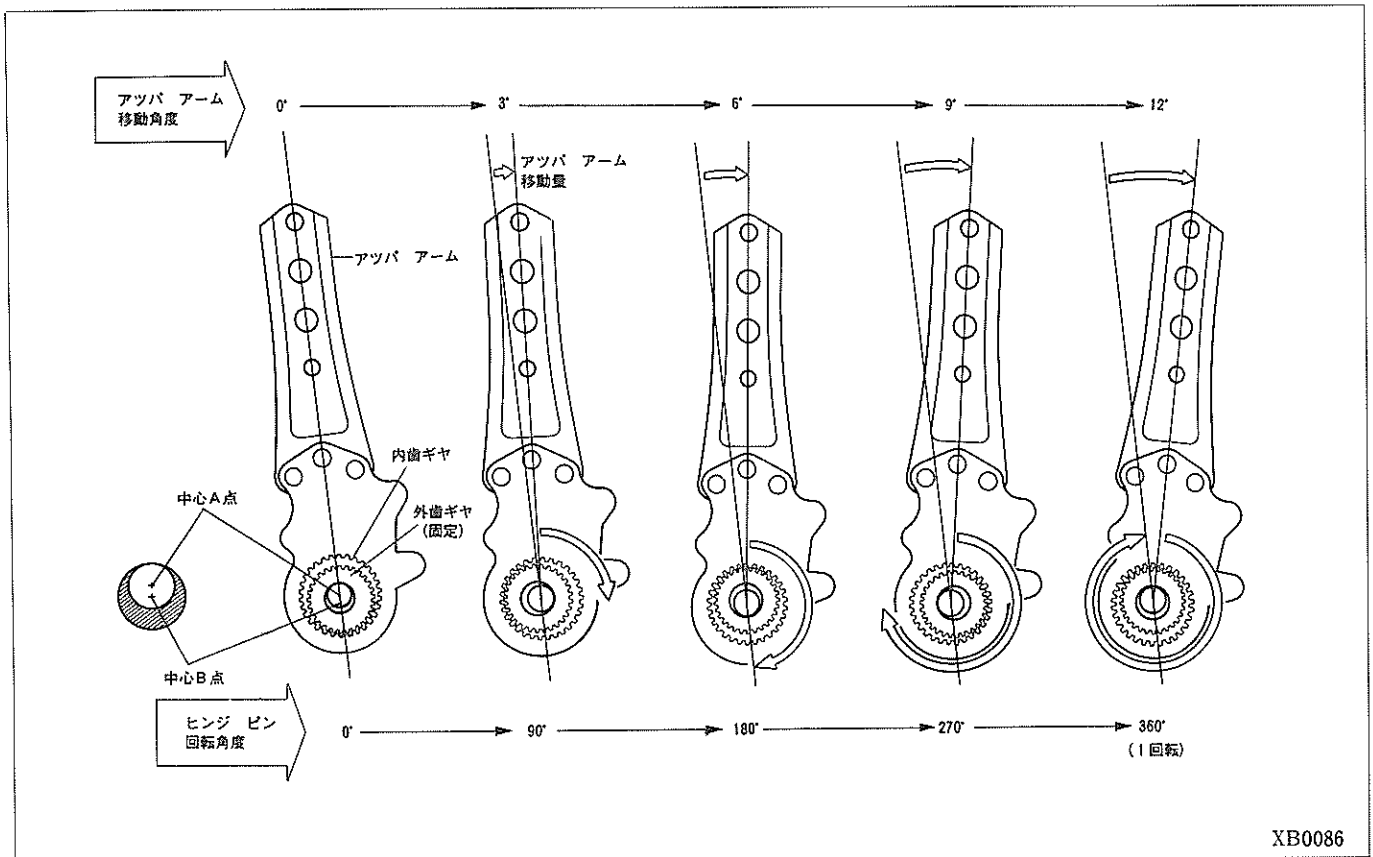
- ① リクライニング スイッチを前または後へスライドさせるとモータのギヤによつてスプロケットが回され、スプロケットに固定されているヒンジ ピンも同じ方向へ回転します。



- ② ヒンジ ピンの回転により、回転中心の同軸上にある外歯ギヤと内歯ギヤには滑りながらも回転力を伝えます。



- ③ 外歯ギヤはシート クッション側に固定されているため、ヒンジ ピンは外歯ギヤの中心軸A点を軸として、内歯ギヤの中心軸B点とともにA点の回りを回転することになります。
- ④ すなわち内歯ギヤB点が回転するということは、ヒンジ ピンの回転力により歯数30枚の内歯ギヤが、下図の様にヒンジ ピンとは滑りながら固定されている歯数29枚の外歯ギヤとの噛み合い位置を変えていく作動をして、ヒンジ ピンが一回転すると内歯ギヤは外歯ギヤとの噛み合い位置が一歯移動します。



XB0086

- ⑤ アツパ アームが固定されている内歯ギヤが回転移動することで、アツパ アームに固定されているシート バックもリクライニング作動をします。なお、ヒンジ ピンがN回転した時のシート バック傾斜角度は次の式で表わすことができます。

$$\alpha = NX \frac{Z_2 - Z_1}{Z_2} \times 360^\circ$$

α : 傾斜角

N : ヒンジ ピン回転数

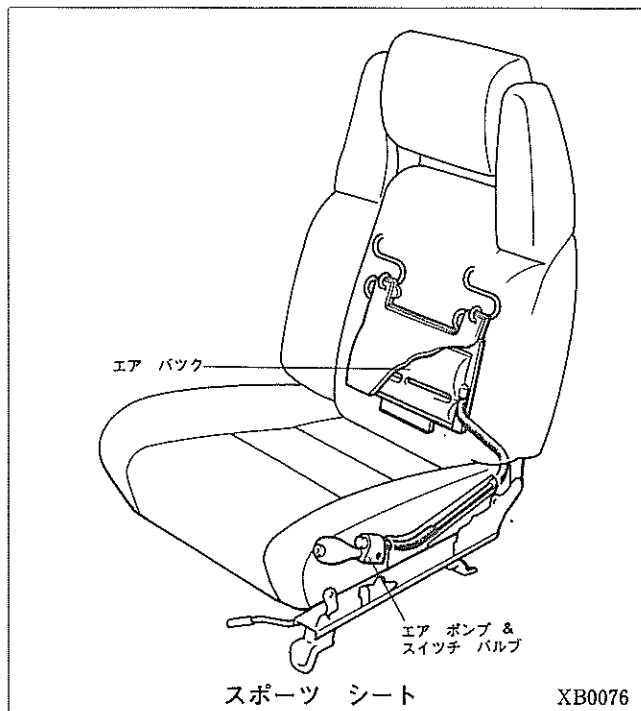
Z_1 : 外歯ギヤの歯数 (29枚)

Z_2 : 内歯ギヤの歯数 (30枚)

従つて $\alpha = 12^\circ \times N$ となり、ヒンジ ピン一回転でシート バックは 12° 傾斜することになります。

3. スポーツ シート

- 種々の運転姿勢に確実に対応すると同時に、長距離運転による腰の沈み込み抑制のため、無段階調節が可能なエア式ランバサポート機構をGT ツイン ターボに採用しました。

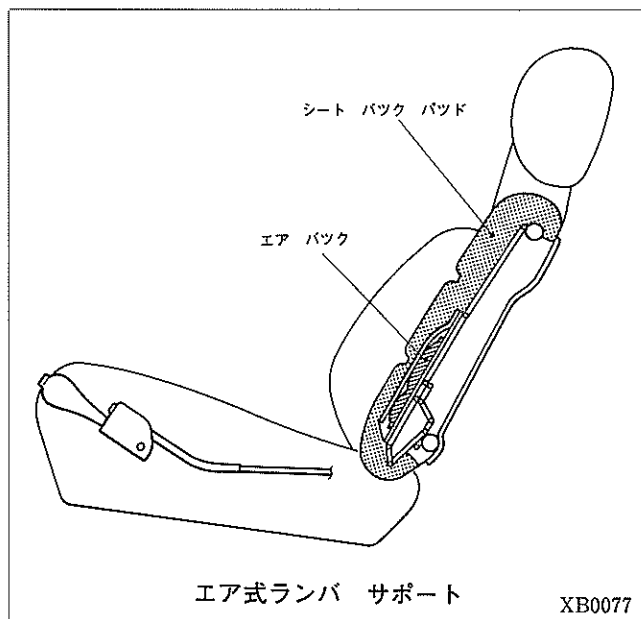


▶構造と作動

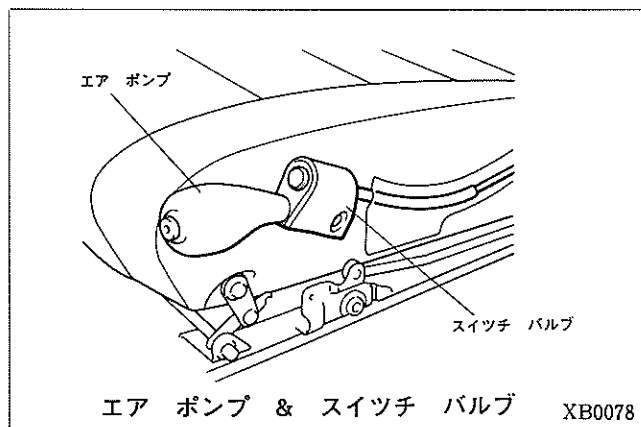
【1】エア式ランバ サポート

〔1〕構造

- (1) エア バックをシート スプリングとパッドの間に入れ、エア バックの凹凸感をなくして背中と面当たりする様にしました。
- (2) エア バックは上下に仕切られていますが、各空気室は完全に遮断されておらず、エアの流通があるワン バック ツー ルーム式構造を採用しています。



- (3) エア ポンプとスイッチ バルブは一体になっており、着座姿勢の状態ですぐに操作ができるシート クッション左側に取り付けられています。



〔2〕作動

(1) エア ポンプとスイッチ バルブを作動させることにより、エア バックの空気量を調節してシート バック前後の押し出し量を広範囲に調節できます。

(2) エア流通経路

① エア圧送時

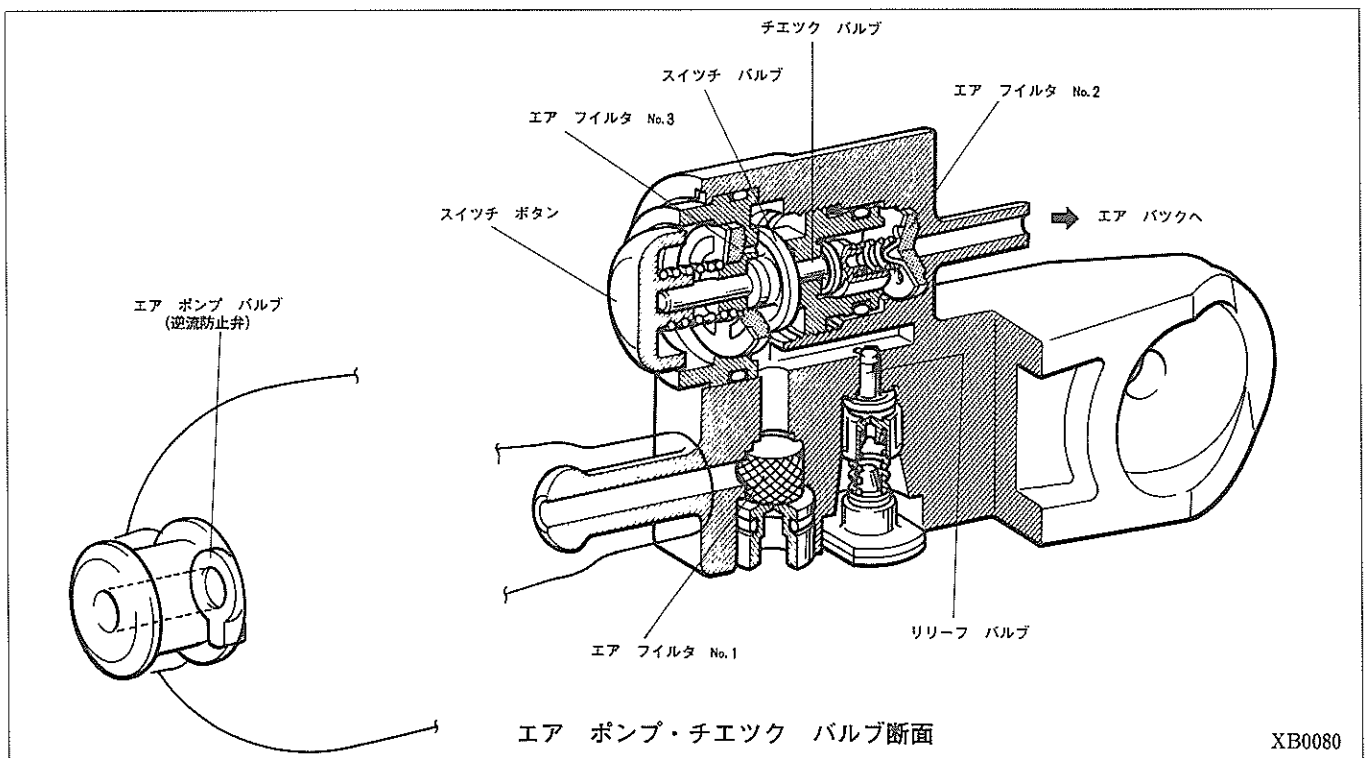
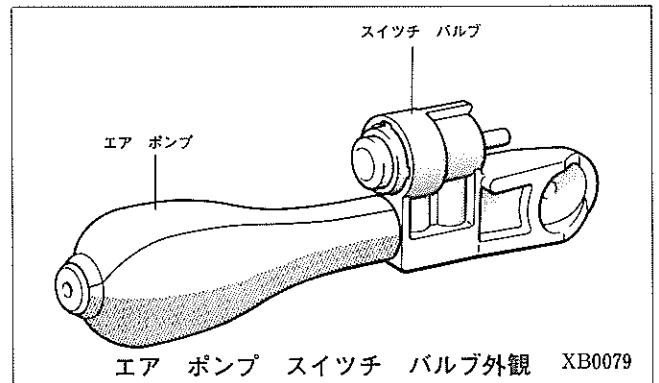
エア ポンプの圧縮を繰り返すことによりエア ポンプ バルブから入った空気はエア フィルタ No.1を通り空気圧が加えられることによりチェック バルブを押し開きます。空気はチェック バルブ シャフトのすき間を通過後エア フィルタ No.2を通りエア バックへ到達しエア バックを押し広げます。

② エア排出時

スイッチ ボタンを押すことによりスイッチ バルブが押し開けられ、同時にチェック バルブもスイッチ バルブによって押されて開きます。エア バックからの圧力の高い空気はエア フィルタ No.2、チェック バルブ、スイッチ バルブ、エア フィルタ No.3を通過してスイッチ ボタンのすき間から大気へ放出され、エア バックは徐々に収縮します。

③ エア圧超過時

エア ポンプの圧縮の繰り返しにより送り出された空気がエア バック規定量(圧力)まで達すると、エア バックの破損を防止するため規定圧以上になると開くリリース バルブが作動して、規定圧到達後にエア ポンプにより送り出された空気は全てリリース バルブから大気へ放出されます。



4. リヤ シート

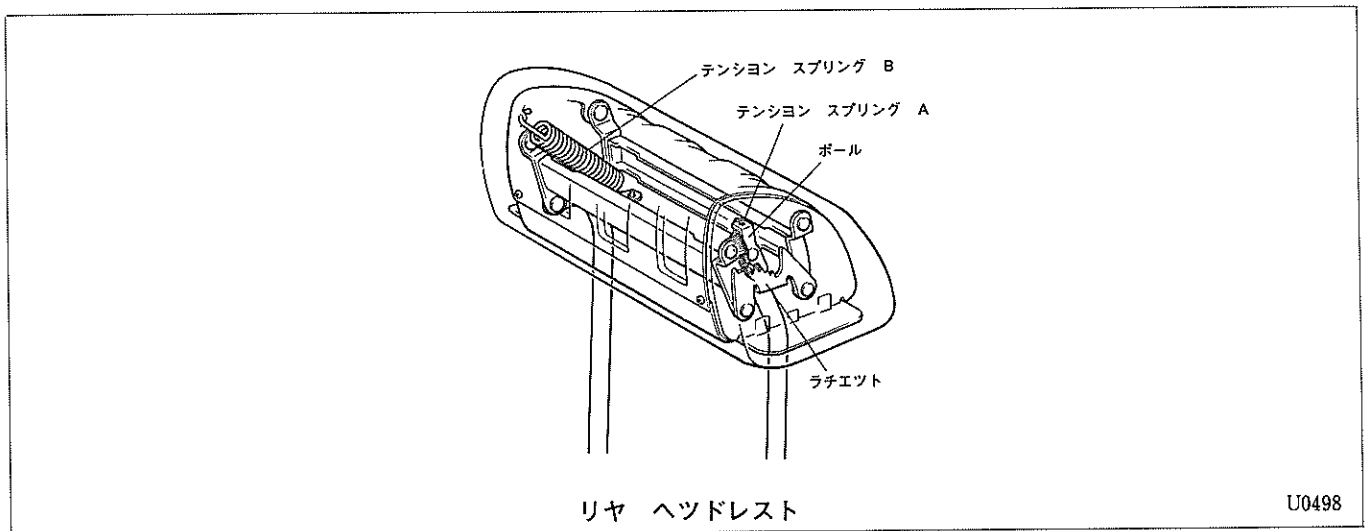
- リヤ シート ヘッドレストを従来の左右調節式から前後調節式に変更すると同時に、ヘッドレスト幅を小さくして操作性ならびに開放感の向上をはかりました。

▶構造と作動

【1】ワンタッチ式前後調節リヤ ヘッドレスト

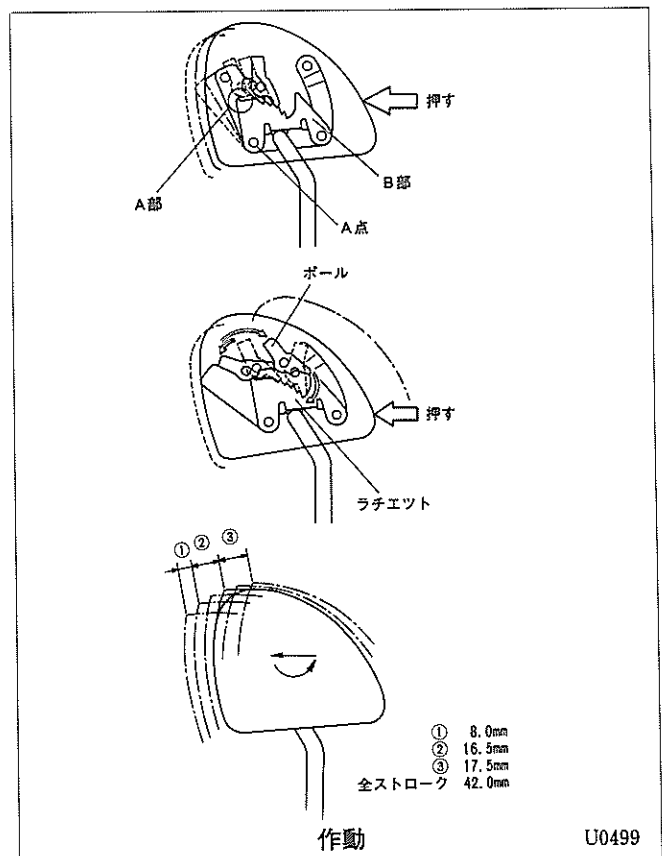
〔1〕構造

従来の左右調節式にかわり、後方から前方にヘッドレストを押すと、回転ではなく平行にスライドするもので、乗員にとって最適なポジションを選びやすいものとなりました。調節量は5ポジションで、全ストロークは42mmとし、最前位置まで押すとヘッドレストは最後端の位置まで戻る構造としました。



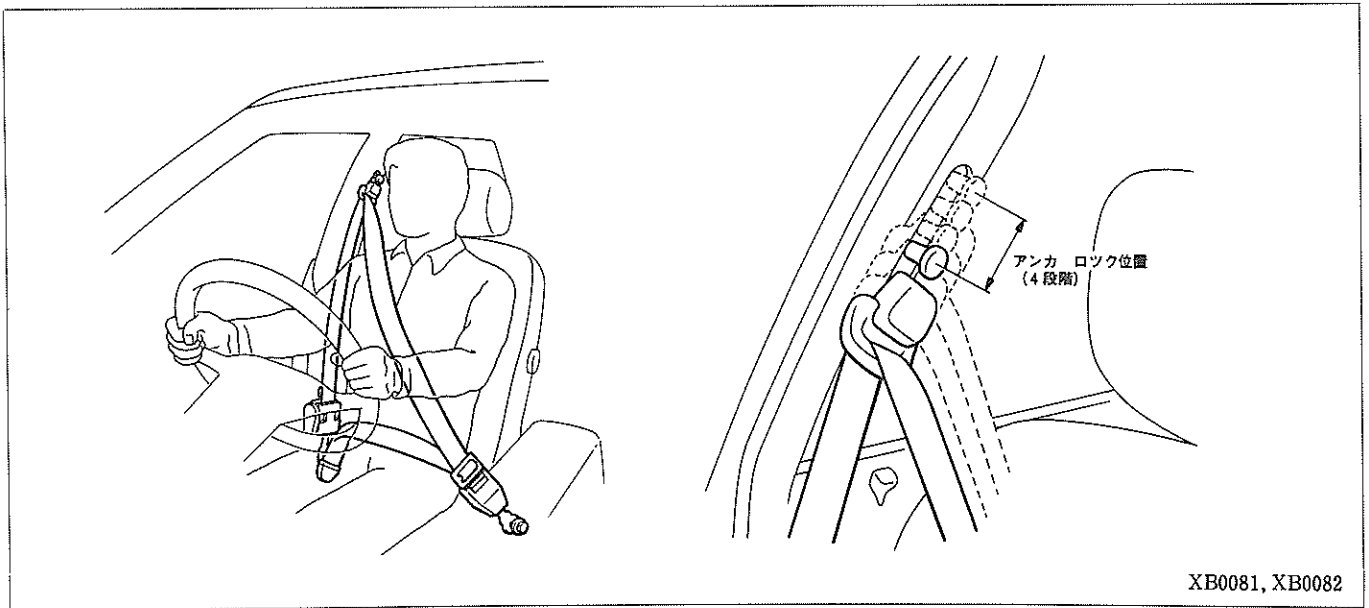
〔2〕作動

- (1) ヘッドレスト本体を手前に引くとA点を中心として、平行にヘッドレストが手前に移動します。この際ラッチとボールが1段ずつかみ合い、好みの位置で止めることができます。
- (2) さらにヘッドレストを最前部まで引くとボールがラチエットのA部により反転させられラチエットとのかみ合いがはずれます。
- (3) この状態でヘッドレストはテンション スプリング Bにより最後端部まで戻り、ボールの先端がプレートにB部にそって下がり、ボールは再度反転して、ラチエットと再びかみ合います。



5. フロント シート ベルト

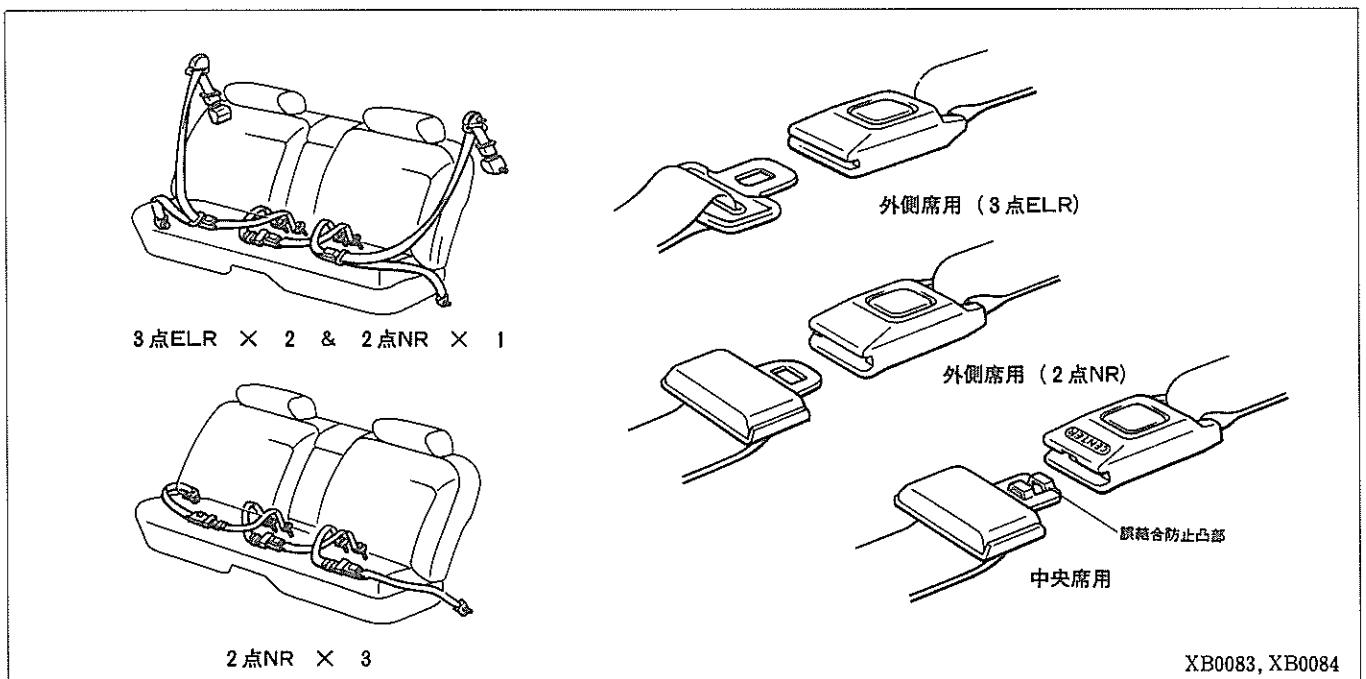
- フロント シート ベルトは従来と同様の3点式ELR シート ベルトを採用しています。
- フロント シート ベルトに、乗員の体格によつてシート ベルト アンカ位置を4段階に調節できるアジャスタブル ショルダー ベルト アンカーを全車に採用して、ベルト装着感の向上をはかりました。
- アジャスタブル ショルダー ベルト アンカーは、ロック ノブを引くとロックが解除され、ショルダー ベルト アンカー位置が上下に移動できるようになっており、ロック ノブを放すと、スプリングによつてノブが戻されて、それぞれのロック位置でショルダー ベルト アンカーが固定されます。
- ショルダー ベルト アンカー位置を調整する際は、シート ベルトが首に接触しない程度に、またシート ベルトが肩に十分かかるようできるだけ高い位置に調節して、確実にロックされた状態で使用してください。



XB0081, XB0082

6. リヤ シート ベルト

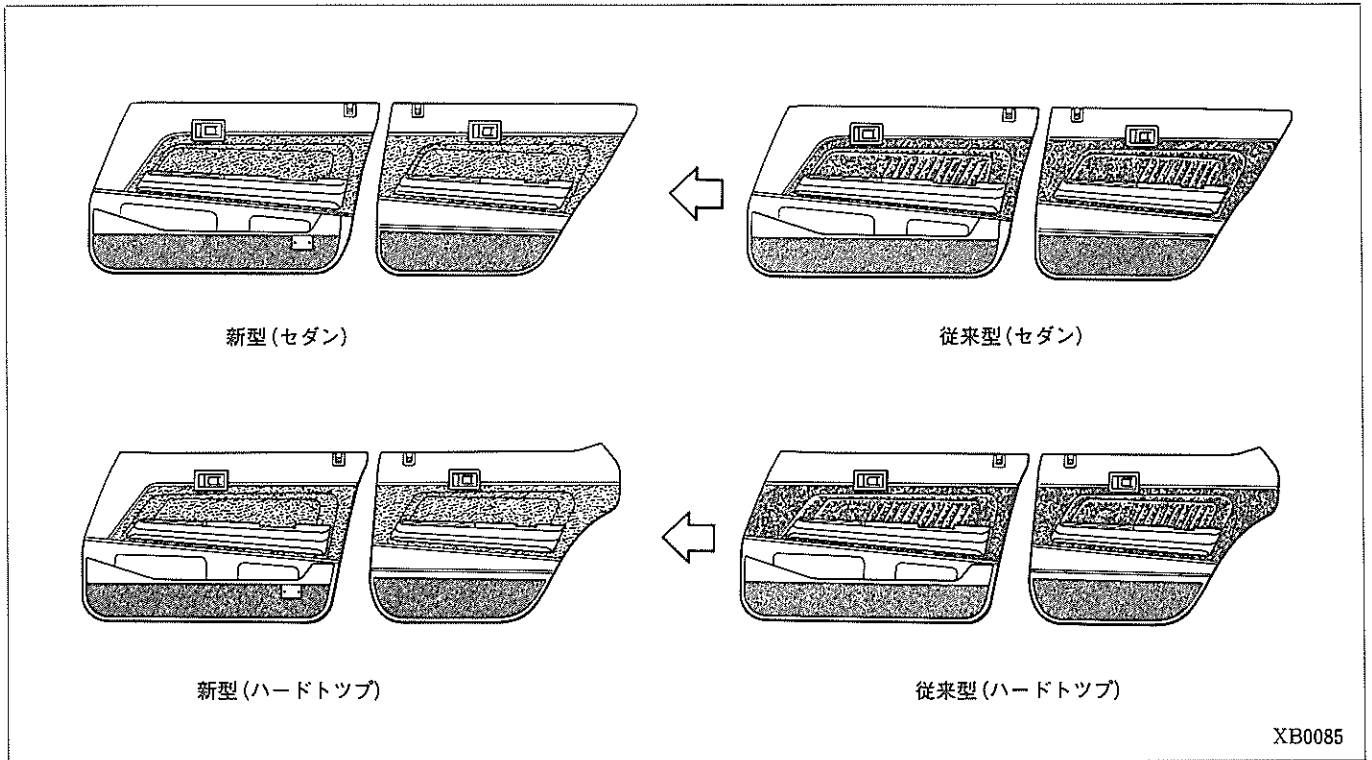
- リヤ中央席用として2点式NR タイプのシート ベルトを設定しました。
- 中央席用のバックルおよびタンクには、外側席との誤結合防止対策を施しました。



XB0083, XB0084

7. ドア トリム

- グランデおよびGT ツイン ターボ車のドア トリム ウェルド パターンを変更して、意匠向上をはかりました。
- また、トリム オーナメント表皮材をシート表皮材と同様にして、高級・品質感の向上をはかりました。



XB0085

□室内配色

1. 室内配色

●：標準装備 ○：メーカー オプション

外板色 カラー コード	室内色 カラー ネーム カラー コード		セ ダ ン						ハードトップ			バン		ワゴン
			STD	GL	GR	LS	LG	グランデ	LG	グランデ	GT	DX	GL	LG
041	ダーク ブルー	80	●									●	●	
040	マルーン	33			●		●	●	●	●	●			●
	ダーク ブルー	80		●		●		●	●	●	●			
166	ダーク ブルー	80		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3H3	マルーン	33			●		●	●	●	●	●			●
4G8	ダーク ベージュ	43		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8E3	ダーク ブルー	80		●	●	●	●	●	●	●	●			●
8C1	ダーク ブルー	80										●	●	
25C (042/4G8)	マルーン	33								○	○			

●外板色との調和を向上させるため3色中2色を新色に変更するとともに、ルーフ ヘッドライニング色も2色から3色化にして各室内色と同色の設定としました。

- (1) マルーン……深みのある高級感が漂う好評のマルーンを継続採用しました。
- (2) ダーク ベージュ……ナチュラルで落ち着いたカラーとしました。
- (3) ダーク ブルー……おだやかで艶のあるカラーとしました。

●また、フロア カーペットおよびドア トリム下部、カウル サイド トリム、フロント シート クッション後部などのカーペット貼り付け部の発色性を向上させ、さらに質感と見栄えの向上をはかりました。